舊政府撰要集拔萃　禁令　五

814ヘ
3 14

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』 請求記号 815-3

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』 請求記号 815-3
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』 請求記号 815-3
ガラス使用

文化三寅年九月

近年米価下直ニ而世上一同難儀之趣
相聞候ニ付大坂米穀所々ニ付手印ニ而諸家
御家人共不及申倍様之者共
差支候無之而已ならす以之外之事ニ候
御為筋無之候得共御論御為筋を以差支候
実ニ至極仕入相積候得者

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』　請求記号 815-3
ガラス使用

右之通御料私領寺社領共不洩様可触
知もの也

九月

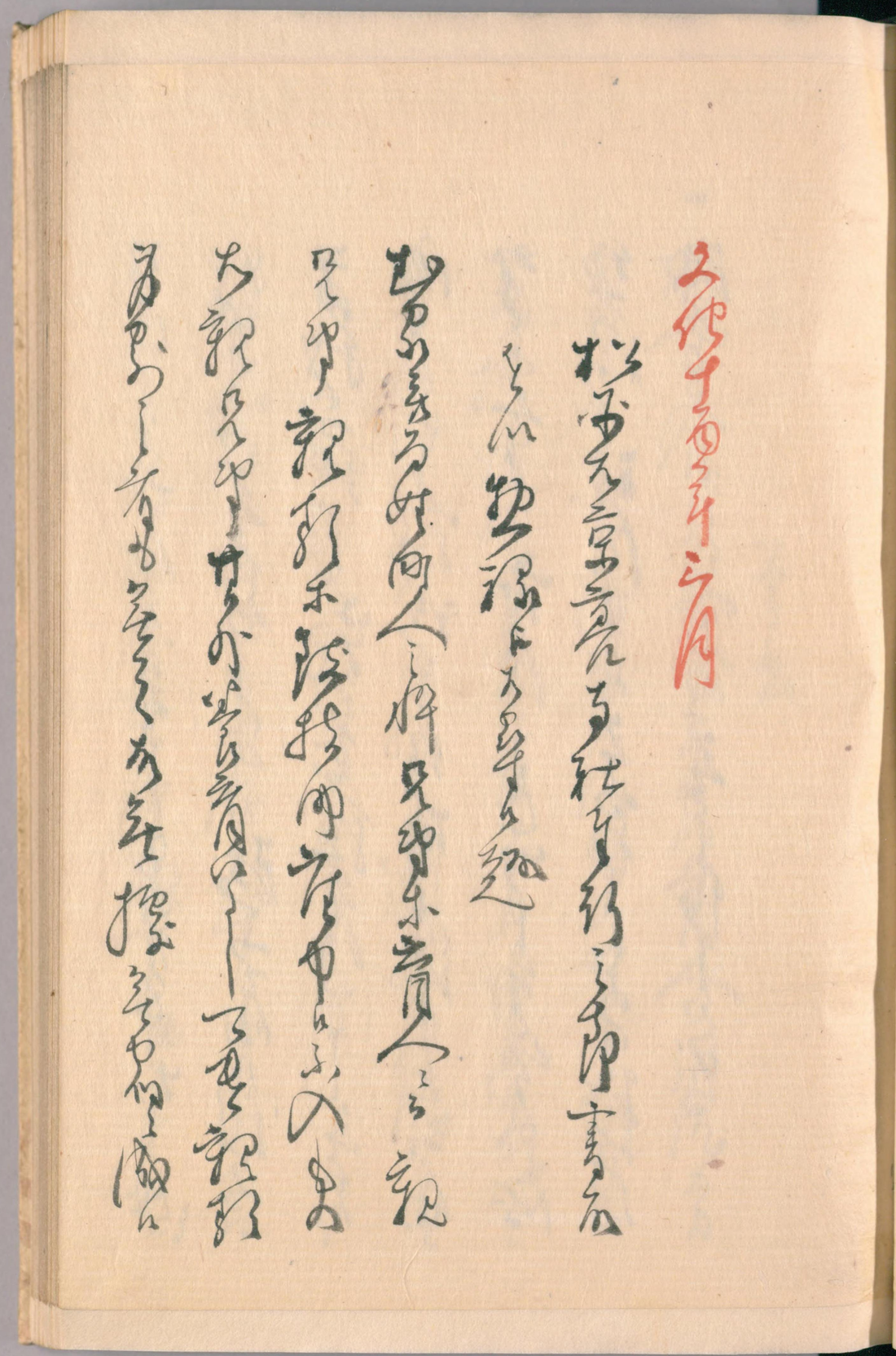
質人

文化十酉年三月觸

質屋渡世之者共之儀、新規ニ相始
候者共、地主又ハ抱之者或ハ借地借店之者
株式之儀無之ニ付、市中組合ニ而取極
置候儀ニ候処、名前ニ而株式之儀取扱之処
質屋仲間へ申立、右之趣向後可為触之事

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』　請求記号 815-3

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『撰要類集』 請求記号 815-3

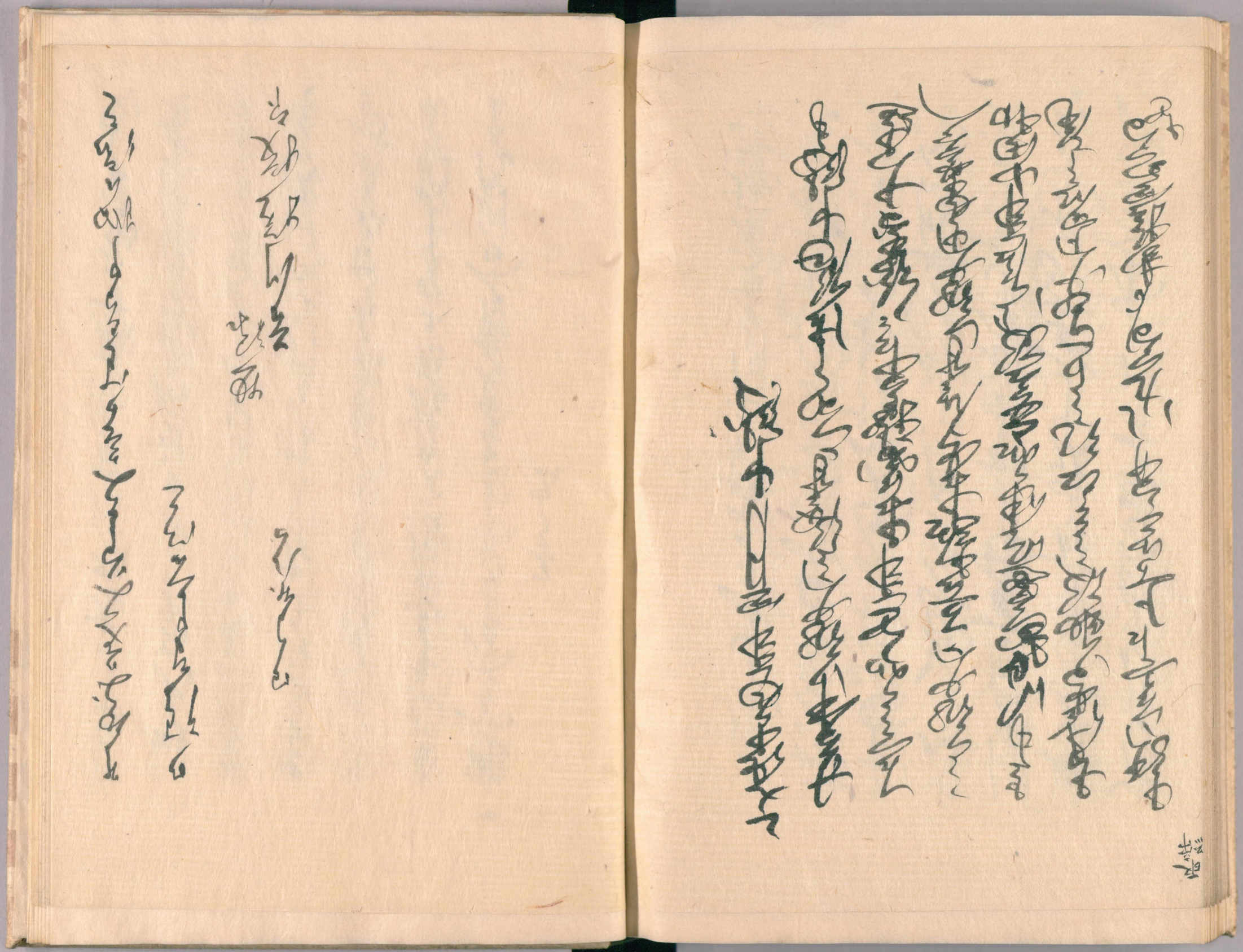
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『摂要類集』　請求記号 815-3

ガラス使用

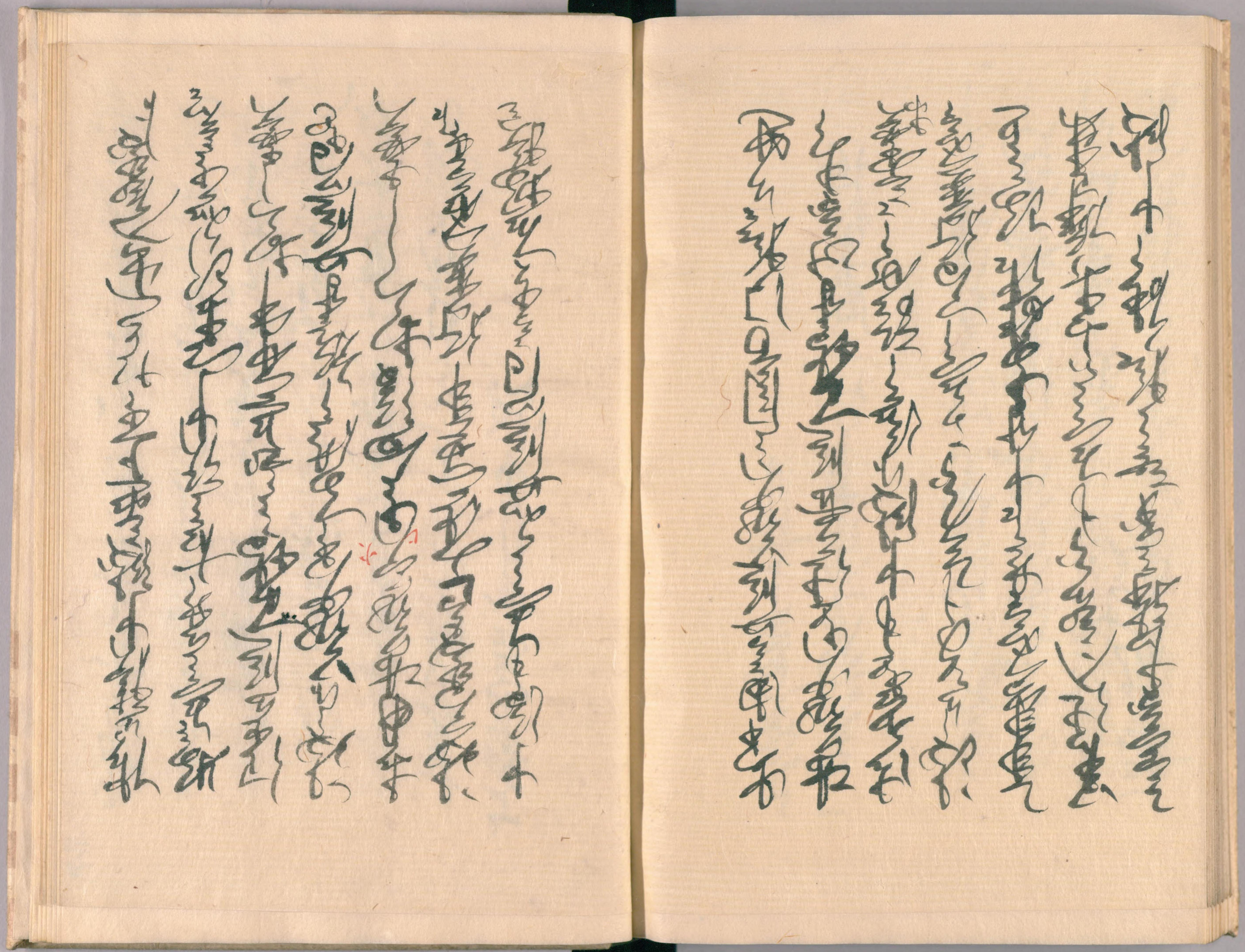
国立国会図書館　タイトル『摂要類集』　請求記号 815-3

ガラス使用



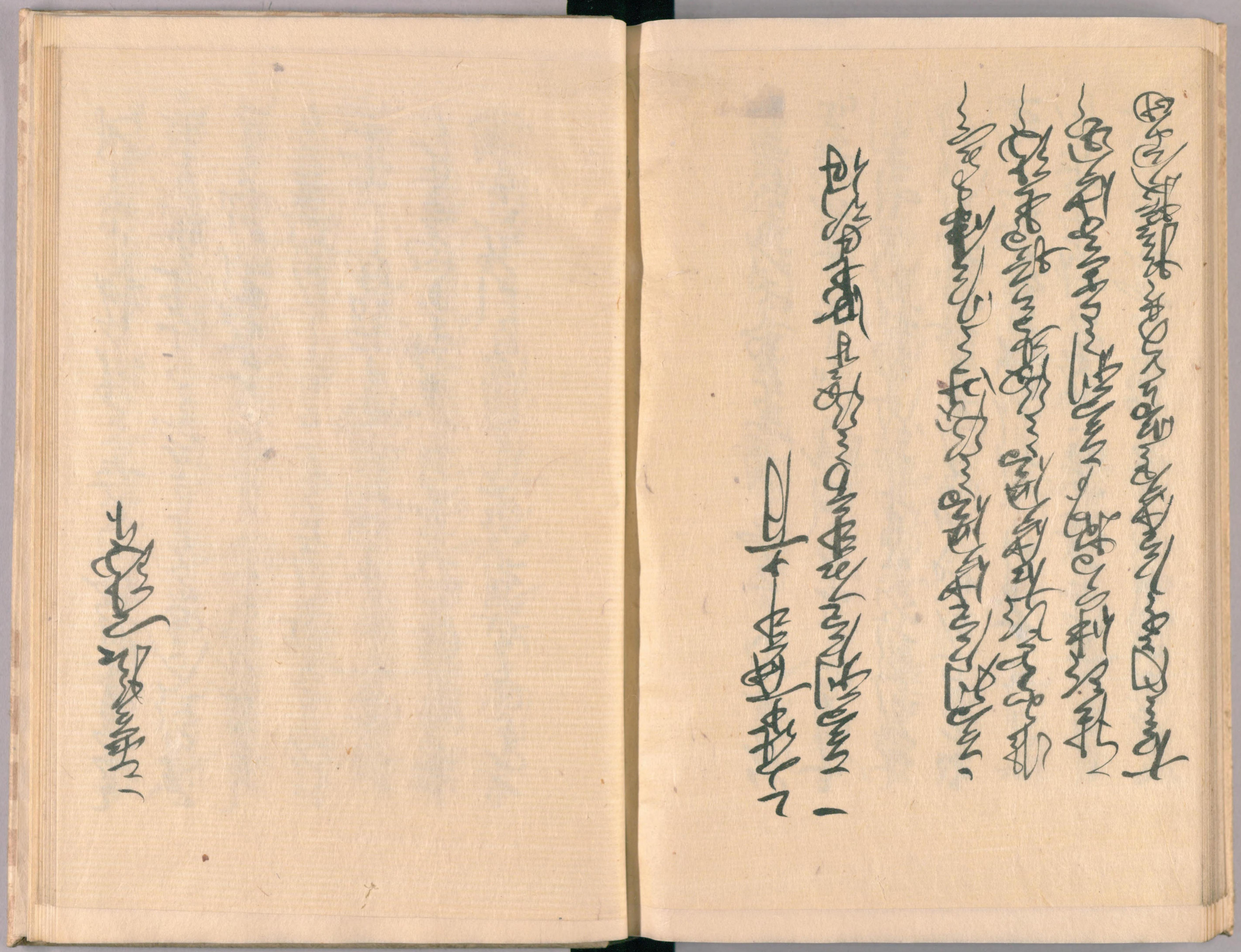
国立国会図書館　タイトル『摂要類集』　請求記号 815-3

ガラス使用



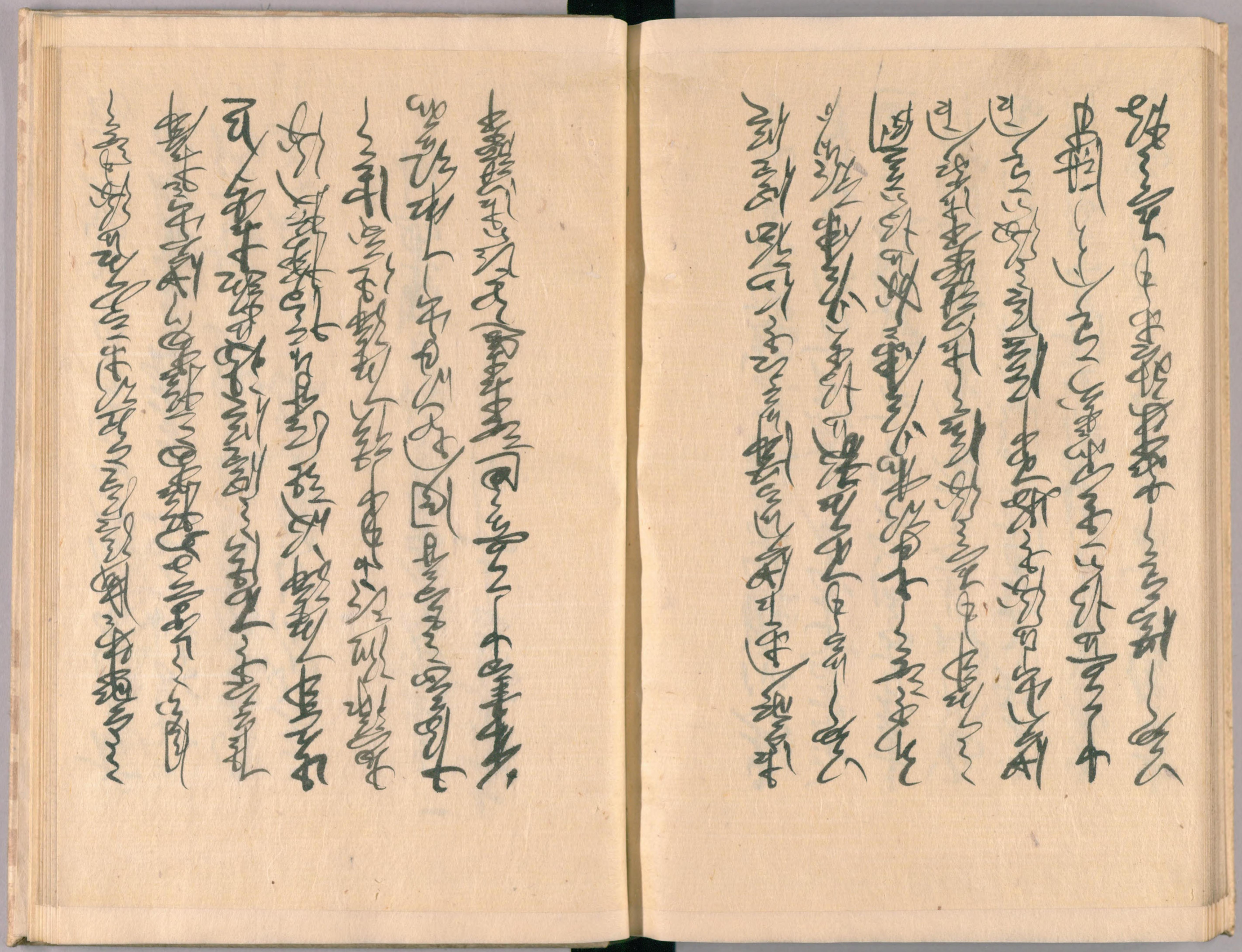
国立国会図書館　タイトル『摂要類集』　請求記号 815-3

ガラス使用



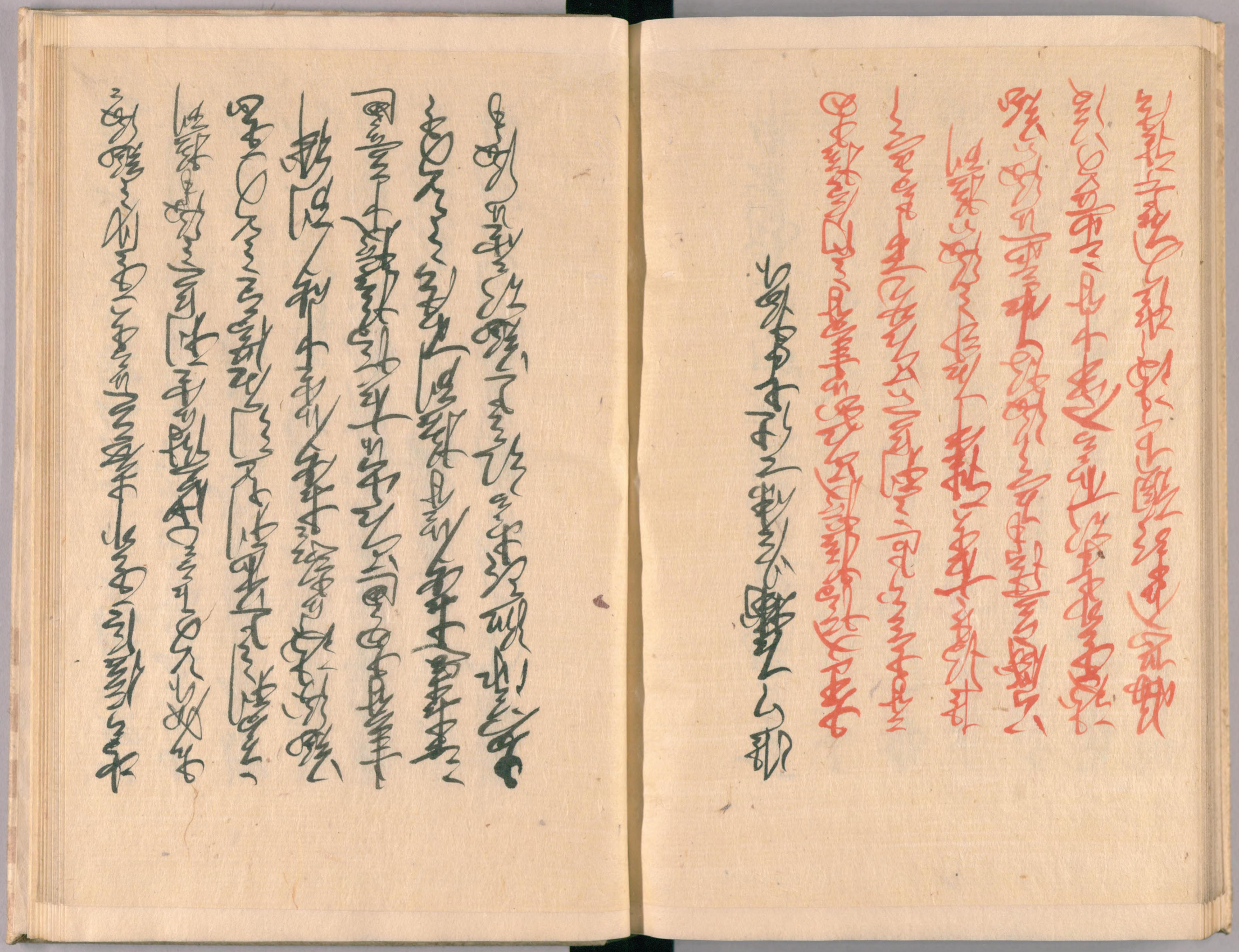
国立国会図書館　タイトル『摂要類集』請求記号 815-3

ガラス使用

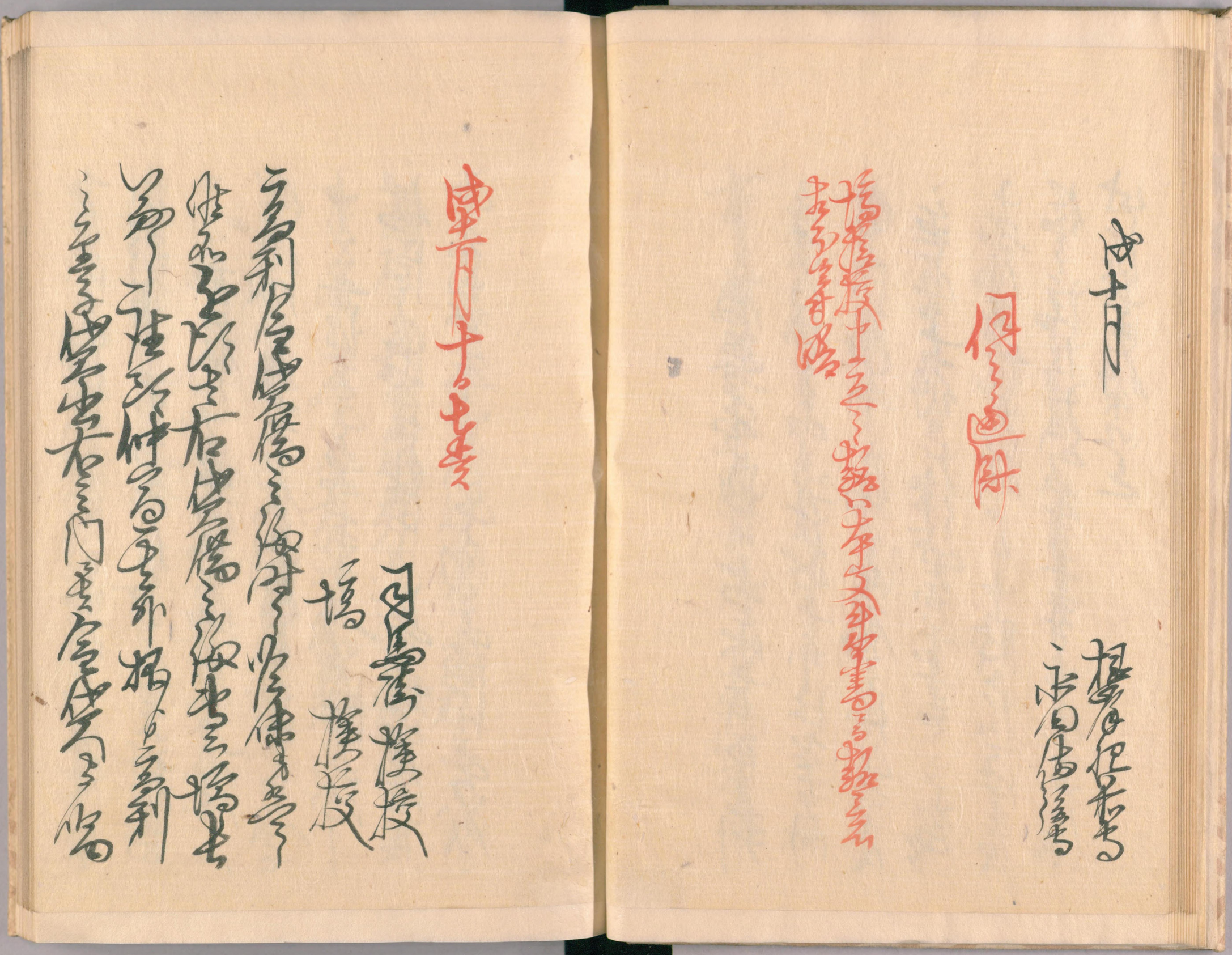


国立国会図書館　タイトル『摂要類集』　請求記号 815-3

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『摂要類集』　請求記号 815-3
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『撰要類集』　請求記号 815-3

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『摂要類集』　請求記号 815-3

ガラス使用

一 新年之儀御断ニ付南町御番所ニ而申上
出候処右補佐候ニ付当分之内之儀ニ付
未熟之者ニ候ニ付格段ニ被仰付候先年
有之候由ニ而未熟之者職之者与申之通申上
之儀ニ付
右之趣上申候書面之通申渡候

申十一月

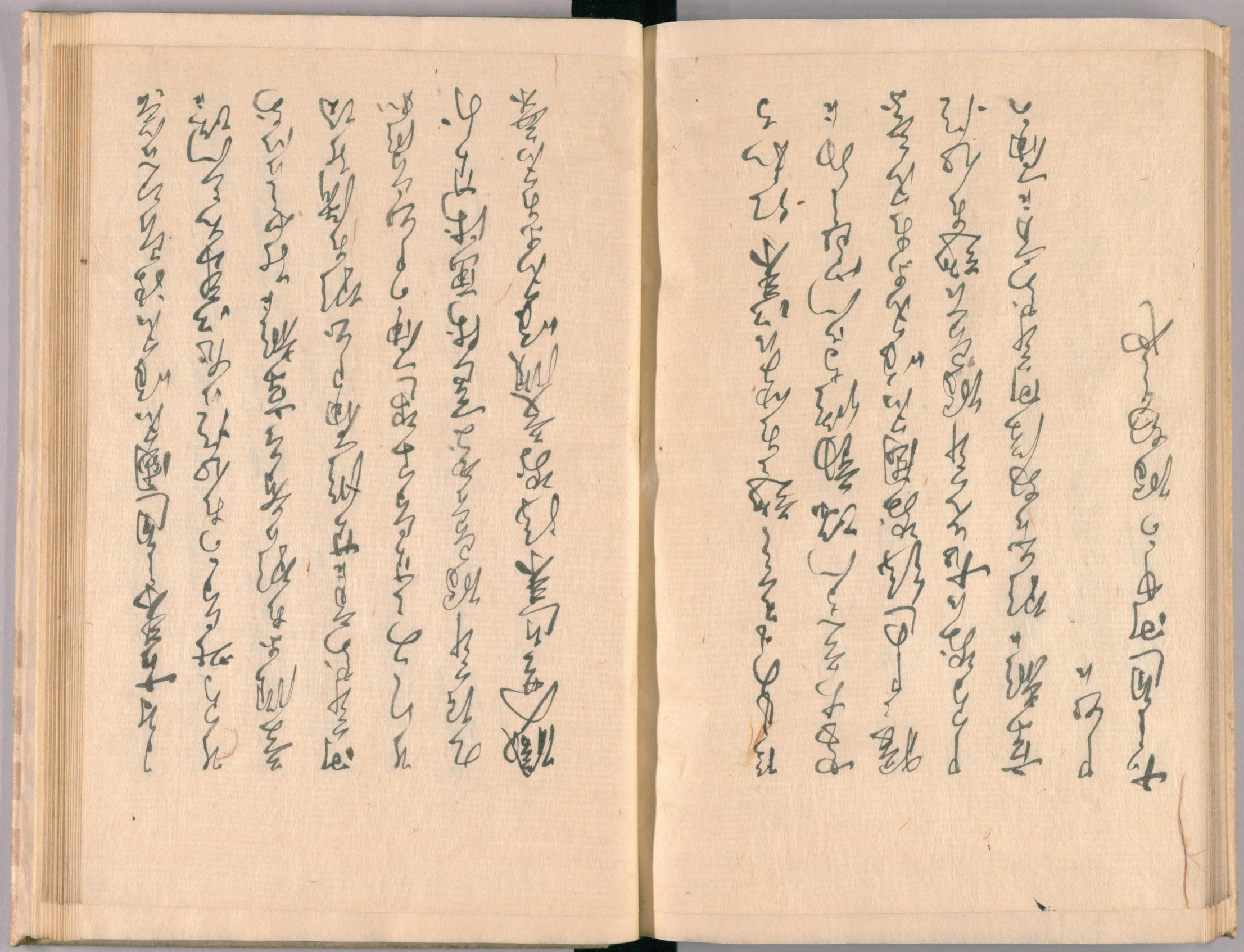
天明元丑年十二月四日

諸職之者受領相願候書付
右承知

宮方公家方ゟ諸職人受領相願候者
其外諸職人之国名受領致候者御座候
前々ゟ受領之儀同様ニ相心得候国
名之儀年来之儀者此度相改候

国立国会図書館　タイトル『摂要類集』　請求記号 815-3

ガラス使用



砂糖

文政元寅年十二月

近来諸国ニ而砂糖製造いたし候もの有之
右砂糖売出候節唐砂糖之趣ニ申
或ハ唐物之内江交セ売買致候趣相聞
紛敷候間向後和製之砂糖ハ和製ニ而
和製砂糖之分ハ其段を申立売
買いたし候様可致候

戌九月

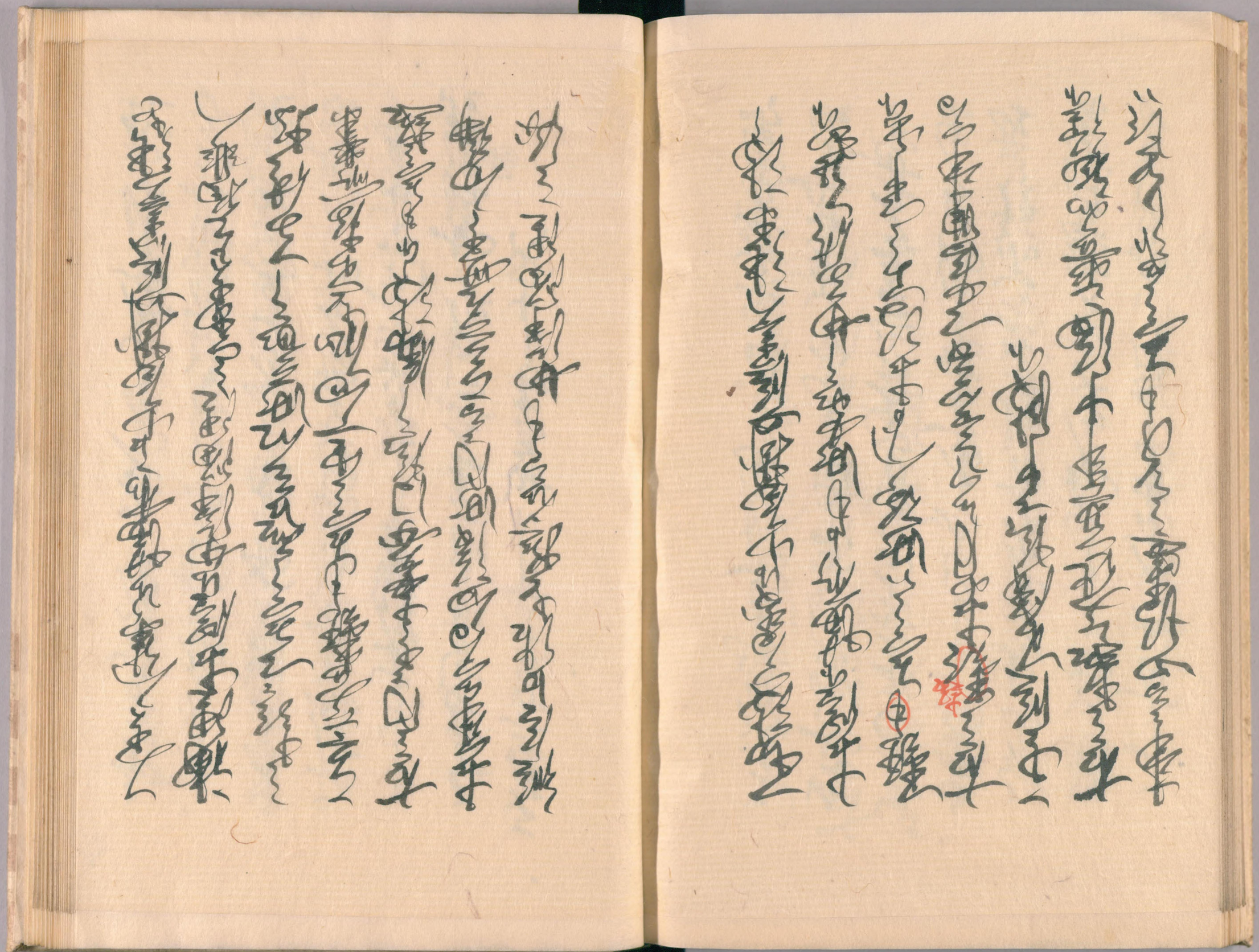
但右之地所ニ而も山之上ニ而も新規ニ家作致し候儀ハ不相成
候事ニ候間是迄之通相心得候
右之趣町中不洩様可触知者也
附り地所ニ而も是迄之通ニ付
十一月

風俗

天保二卯年二月　地本問屋中渡
近来浄瑠璃本之内世間ニ而板行致候浄瑠璃
中本之類好色本売買致候趣相聞候
一浄瑠璃本浄瑠璃本之類
之本屋共好色之類ニ而
古来之類絵類
新規ニ致板行候

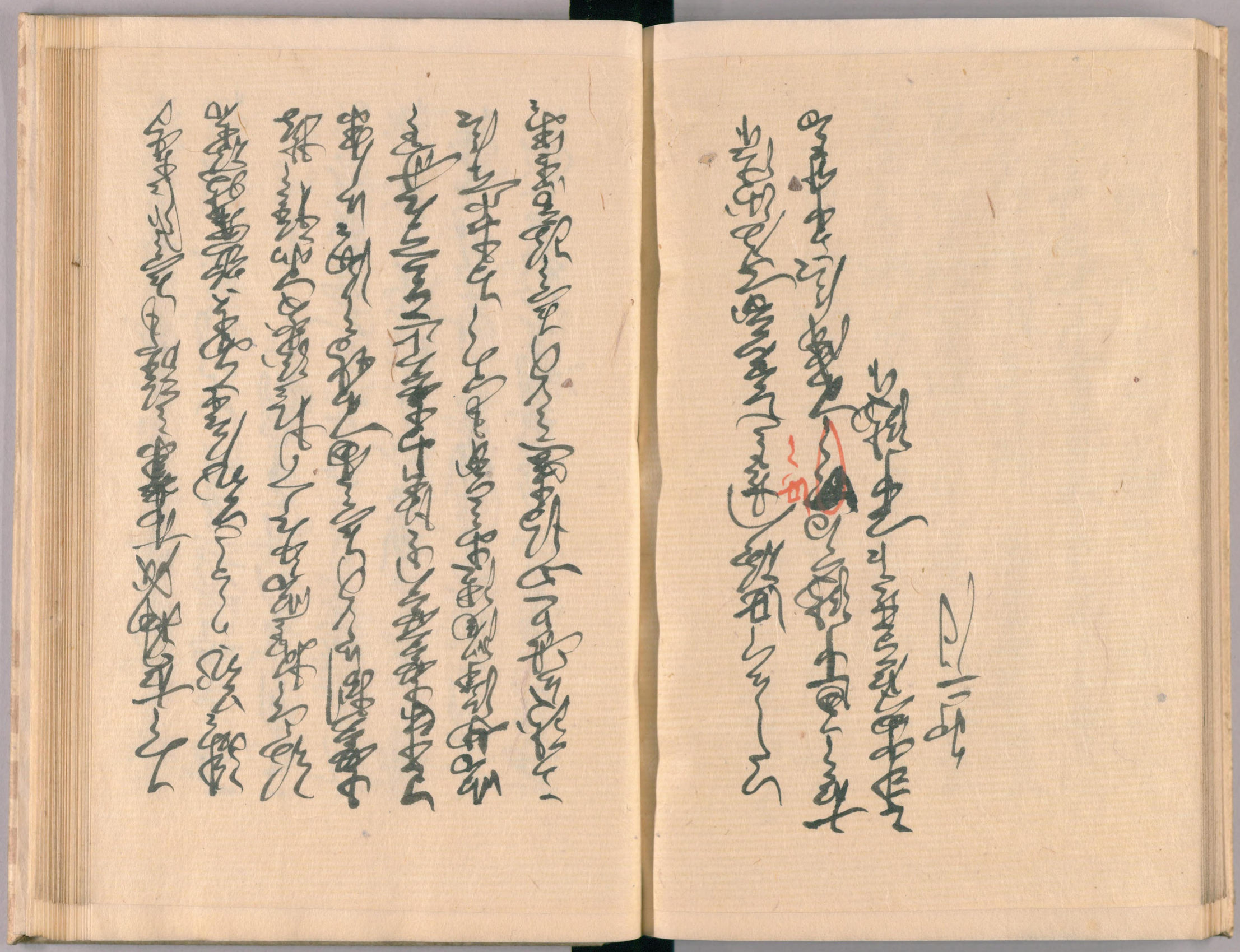
国立国会図書館　タイトル『摂要類集』　請求記号 815-3

ガラス使用



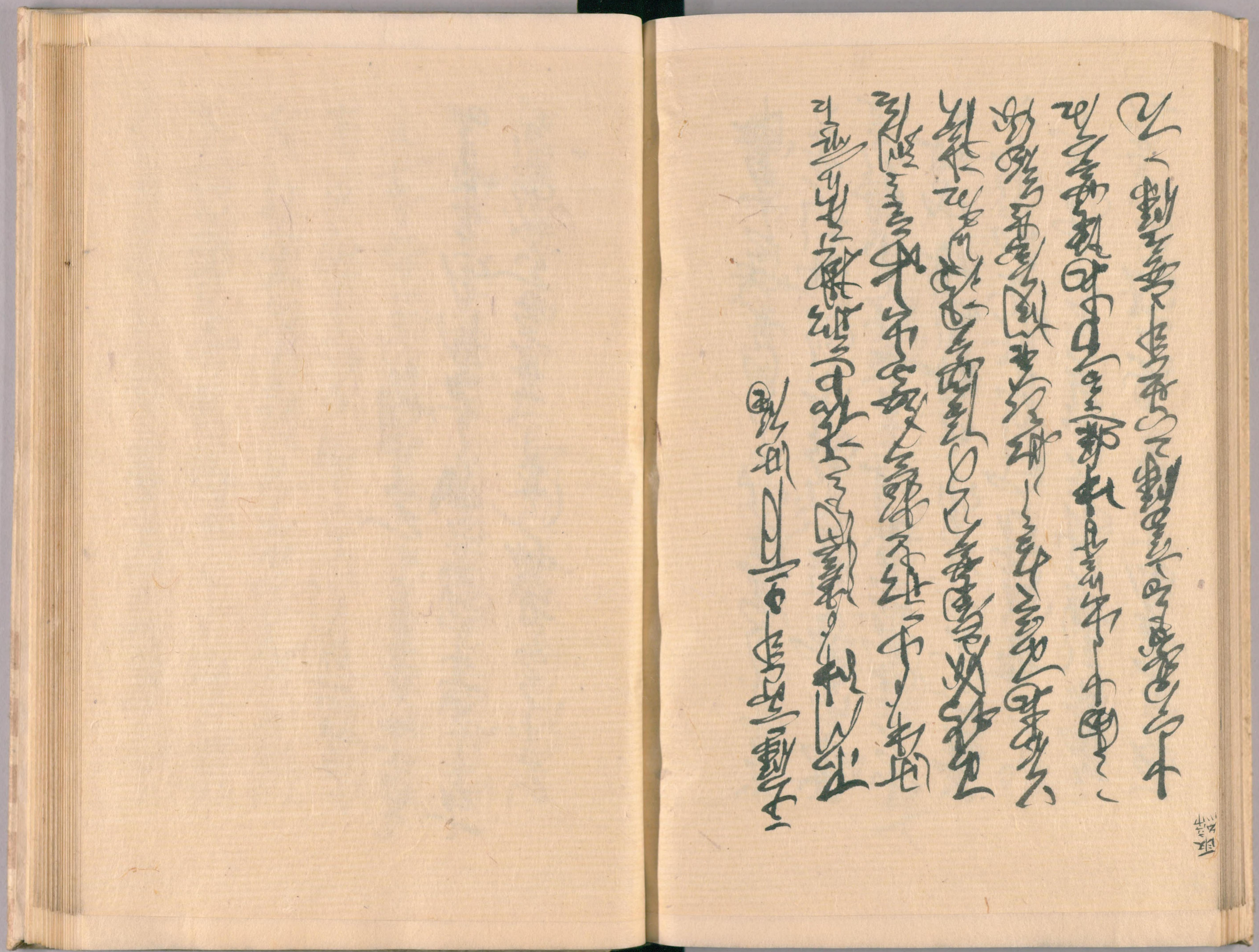
国立国会図書館　タイトル『摂要類集』　請求記号 815-3

がラス使用



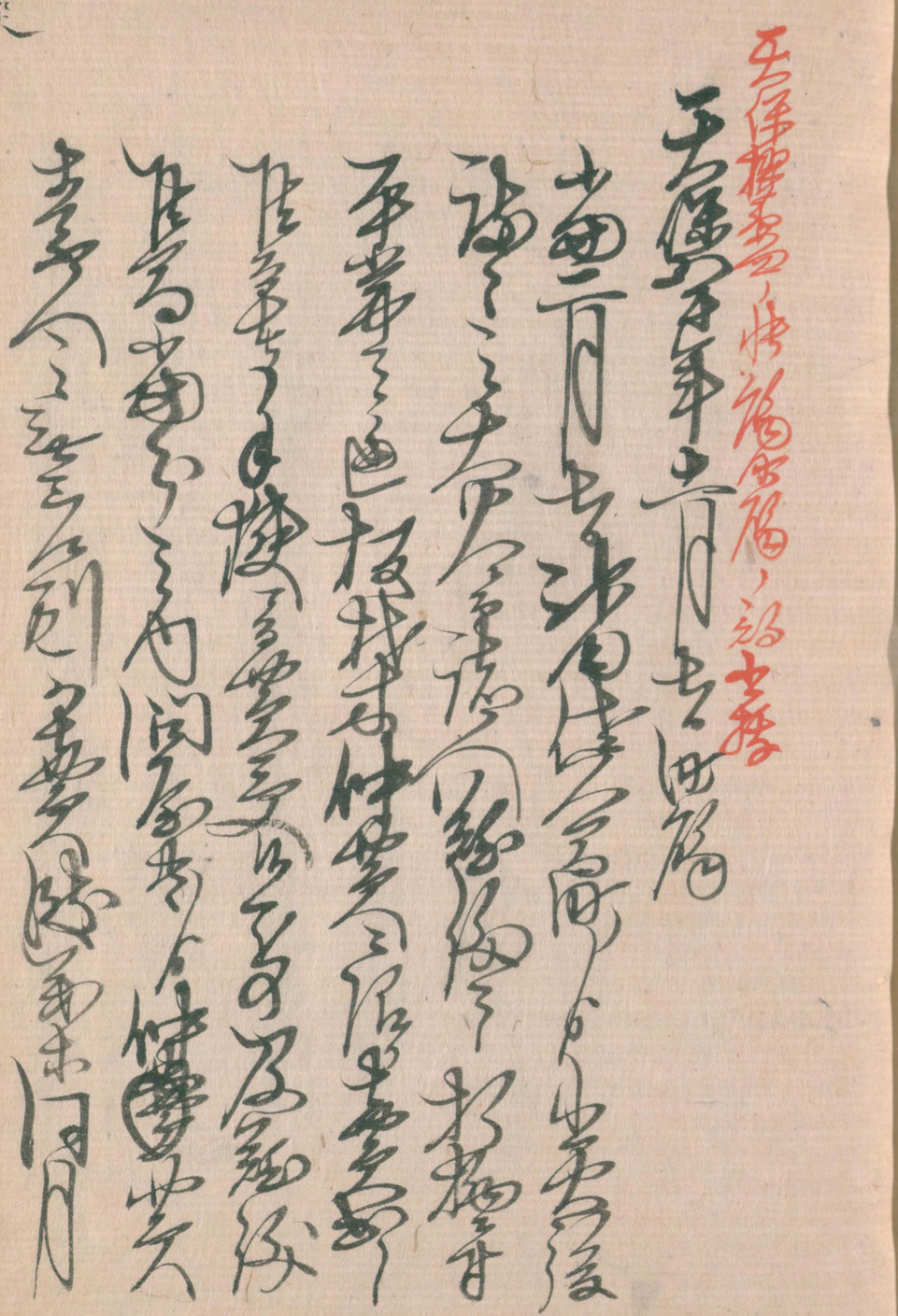
国立国会図書館　タイトル『摂要類集』　請求記号 815-3

ガラス使用



右年寛[illegible]十九年[illegible]書付[illegible]
之[illegible]候[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一[illegible]
[illegible]
右之趣[illegible]者也
卯十二月



国立国会図書館　タイトル『撰要類集』　請求記号 815-3

ガラス使用

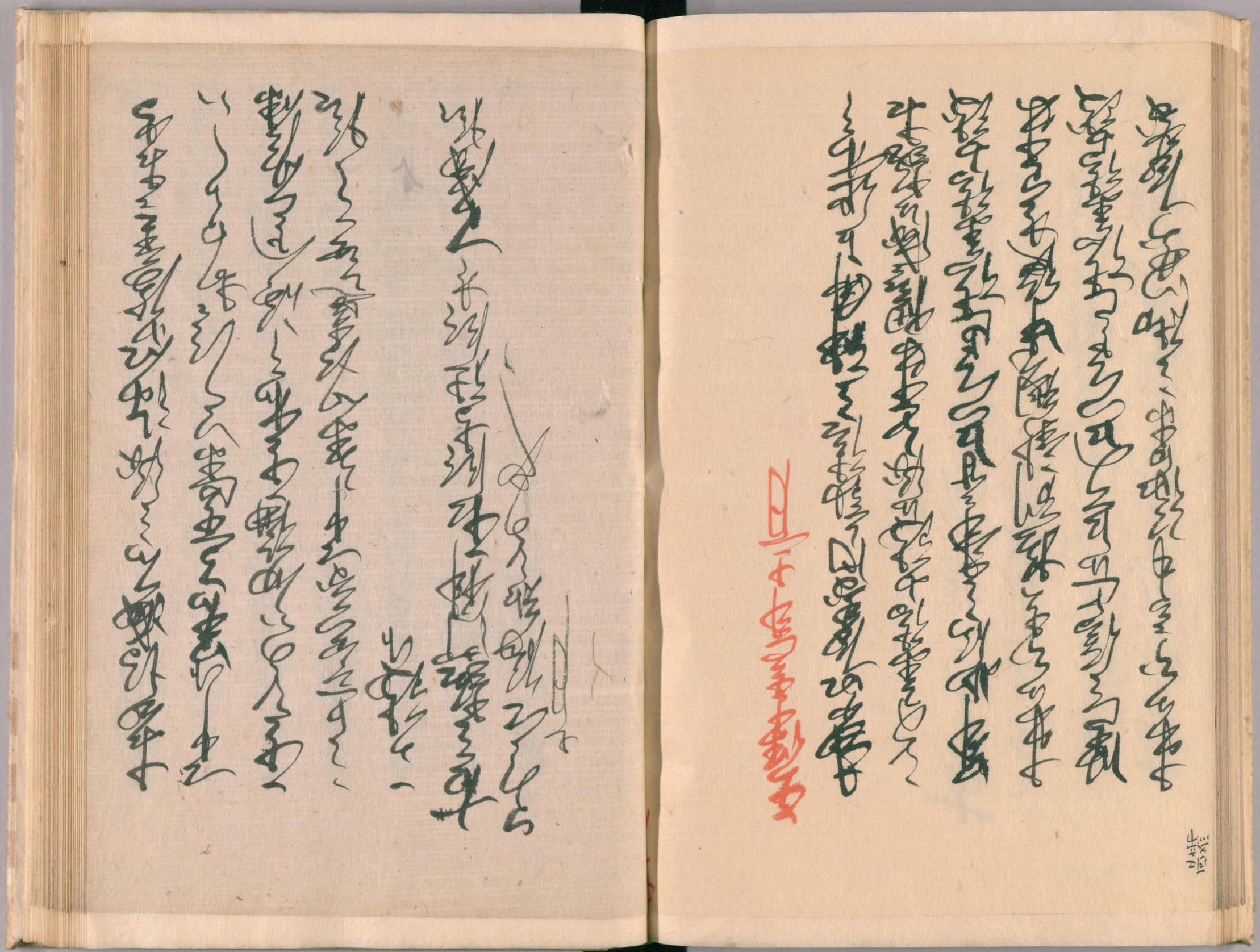
右之趣御料私領寺社領共、不洩様
去卯年中寄場[illegible]共、当然[illegible]ニ付
取締之趣、夫々ニ申付置候処、猶又
去年[illegible]之儀ハ、無之様[illegible]ニ可申付候
候者ハ、其村役人共迄可為越度者也

子十一月

一 天保七申年七月
諸国酒造之儀、去ル未年一藏ニ付三分一造
ニ被仰付置候処、当申年中、米穀高直ニ付、猶又
一藏造之内三分一之酒造被仰付候
去ル午年以来、酒造米之儀ハ、酒造米高之
三分一之酒造ニ被仰付置候処、猶又
酒造米之儀ハ、右之外ニ無之様可致候

国立国会図書館　タイトル『摂要類集』　請求記号 815-3

ガラス使用



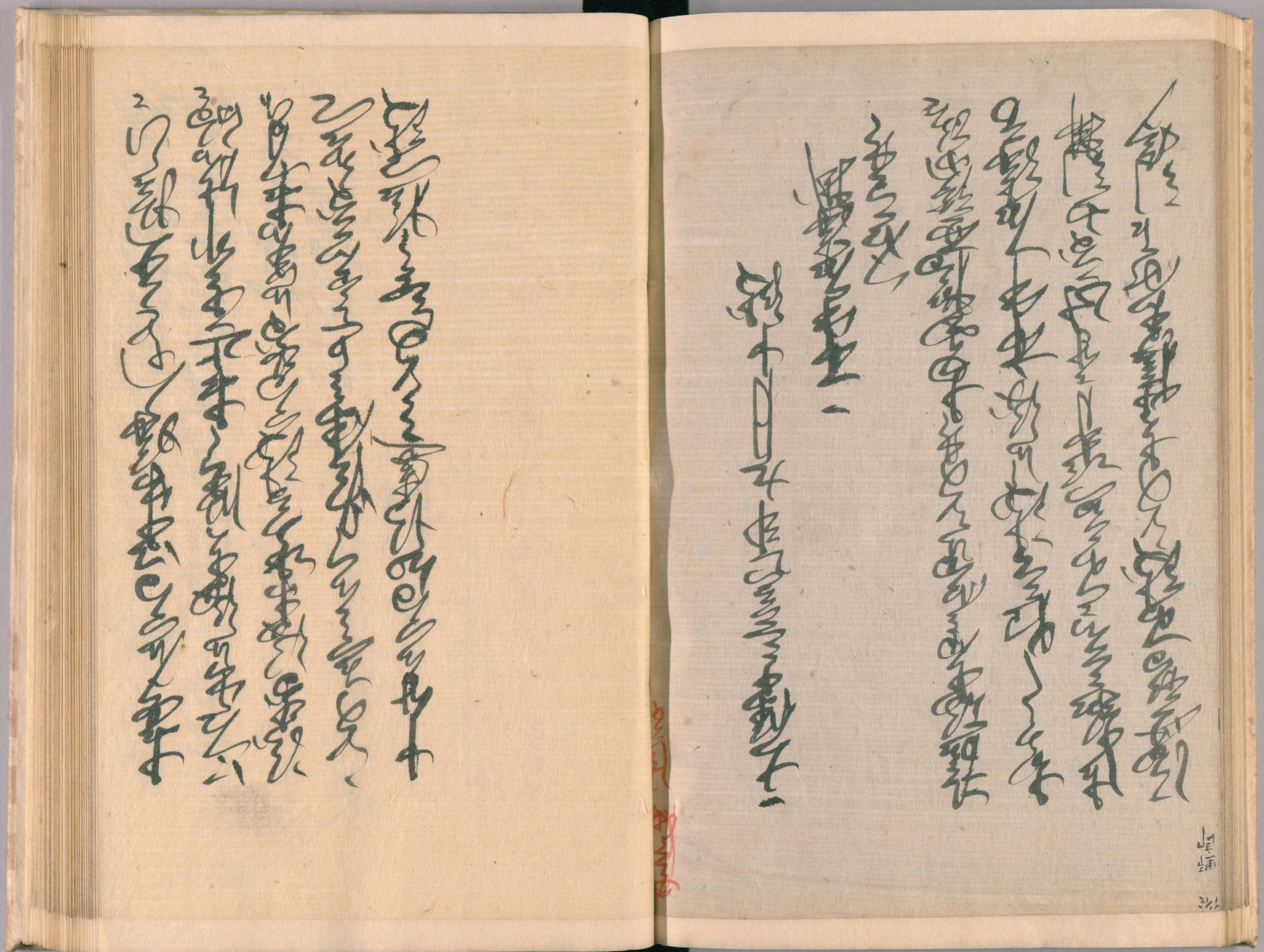
中務

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』　請求記号 815-3

ガラス使用

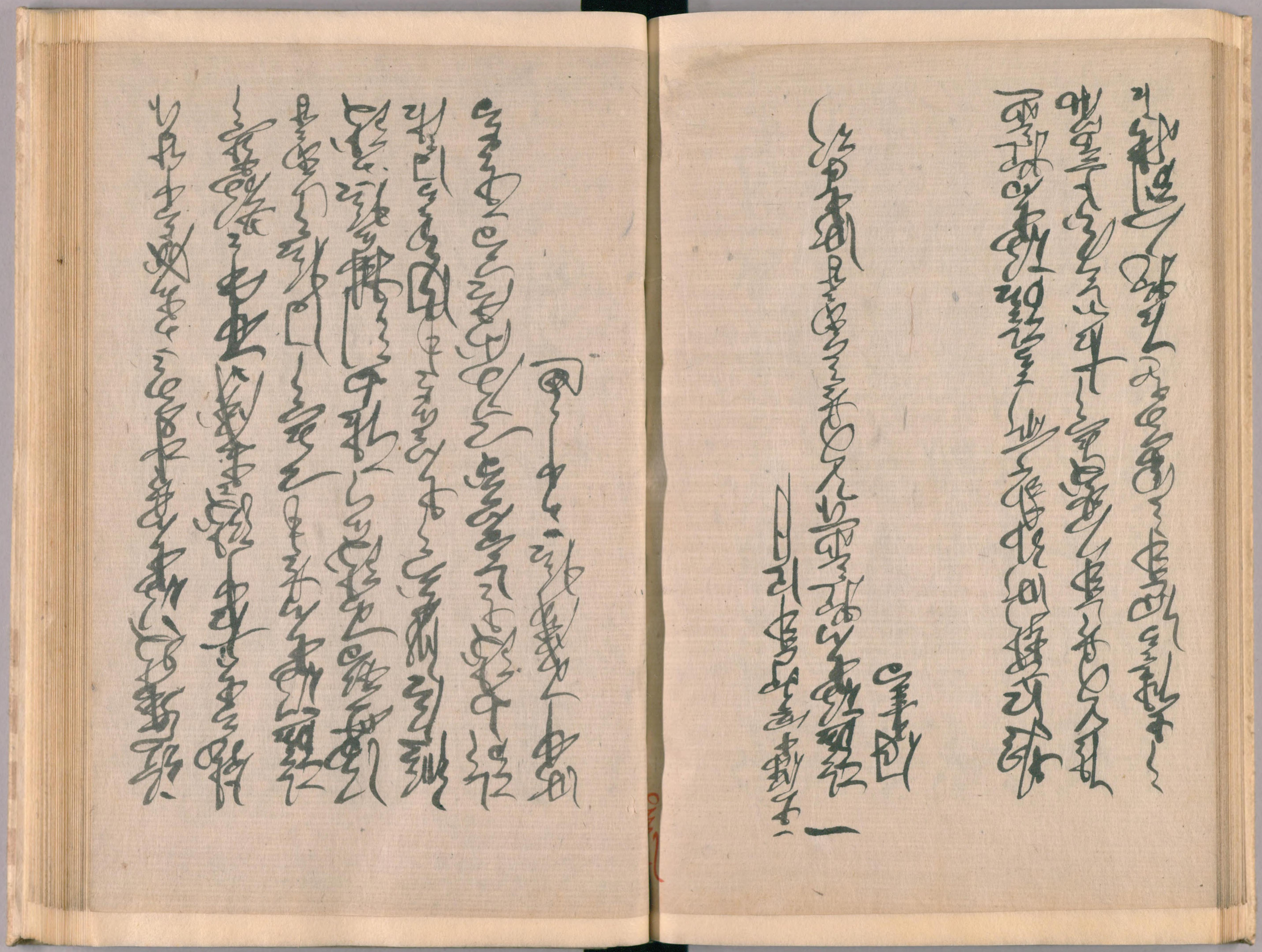
国立国会図書館　タイトル『摂要類集』　請求記号 815-3

がラス使用



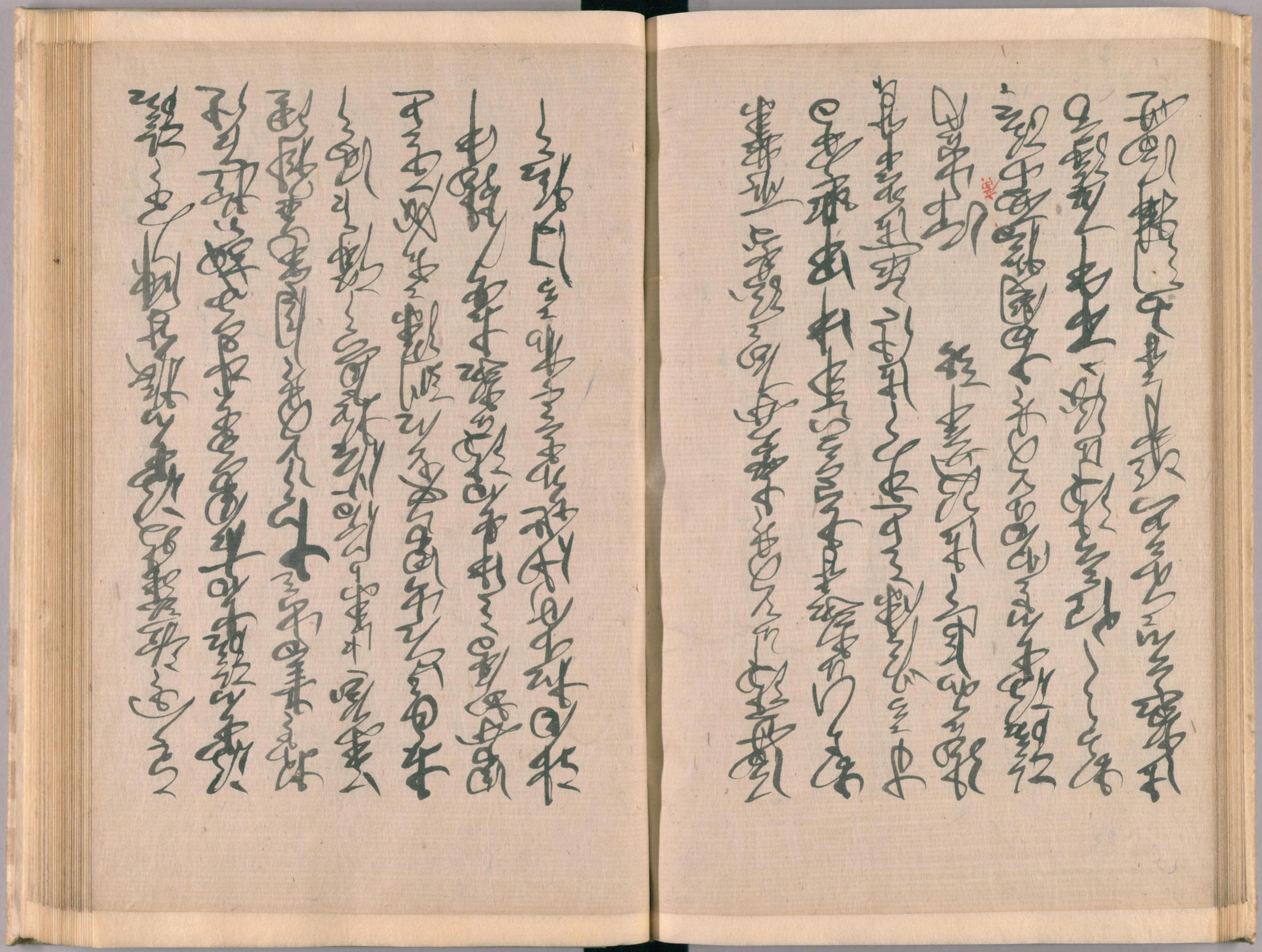
国立国会図書館　タイトル『摂要類集』　請求記号 815-3

ガラス使用



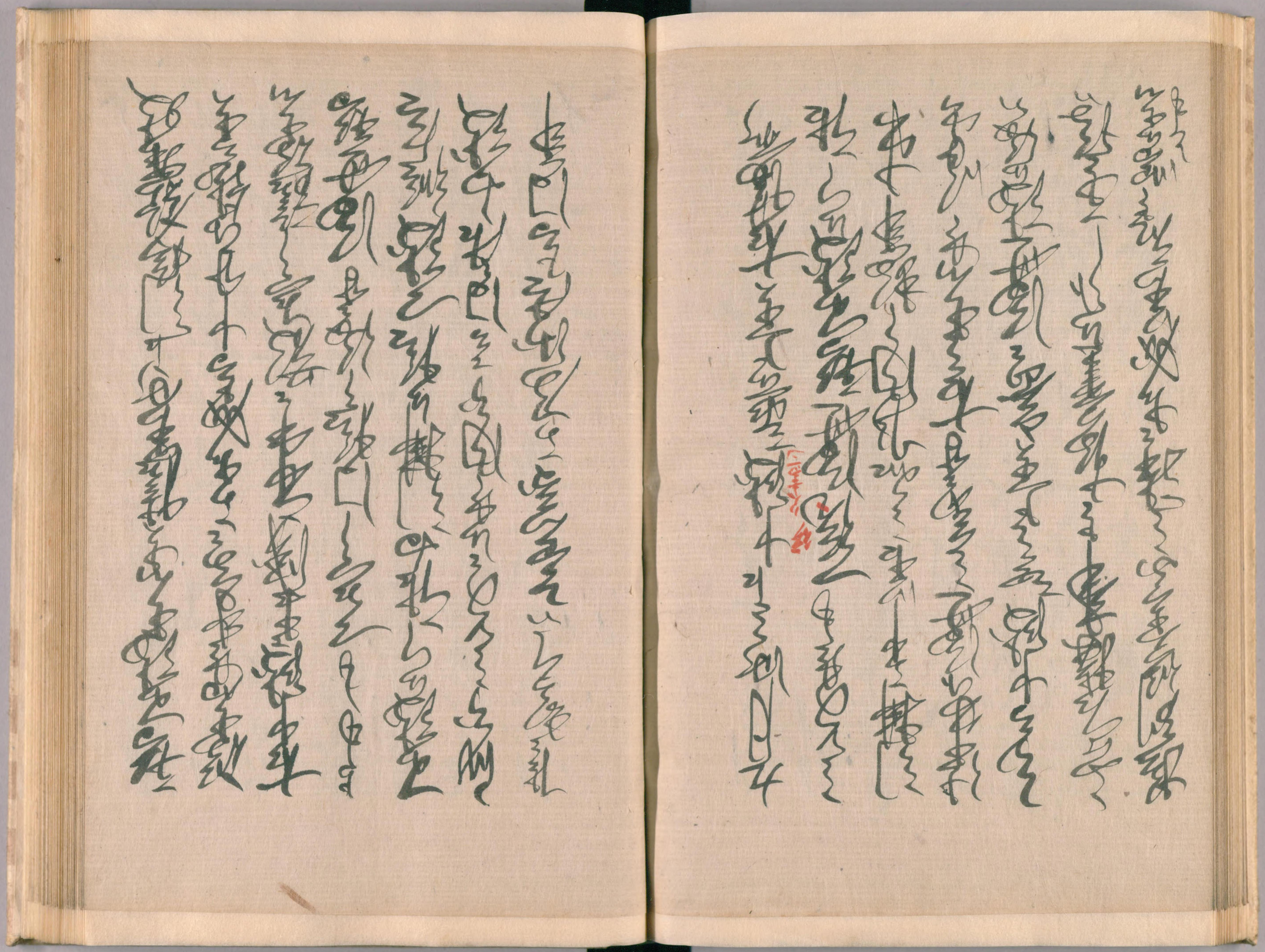
国立国会図書館　タイトル『摂要類集』　請求記号 815-3

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『撰要類集』　請求記号 815-3

ガラス使用



一不届之義相聞候ニ付所払申付侯太郎兵衛へ
者御褒美之儀者此度ハ不及沙汰候右之通
御仕置之儀ニ而御沙汰可申上候
其節者御吟味之上御沙汰可有之候右御仕置
江戸払ニ而候得共御赦ニ付宥免差免
候得共此度之儀者格別之事ニ付
[illegible]

奉伺候以上
右書面之通[illegible]

戌八月中上旬

右書面之通申渡候
[illegible]

右伺書付御下知之通可申付旨

法曹類林ハ年久敷候而紛失之由
兼而承及候處此度拝見仕候則
之通致写差上申候御取捨可被
来期秋中勘定仕候へ考定可仕
十二月廿日

以上
卯十一月
松平伊豆守御用

中段常
堀田相模守殿
右筆組頭
宗八
石井宗八

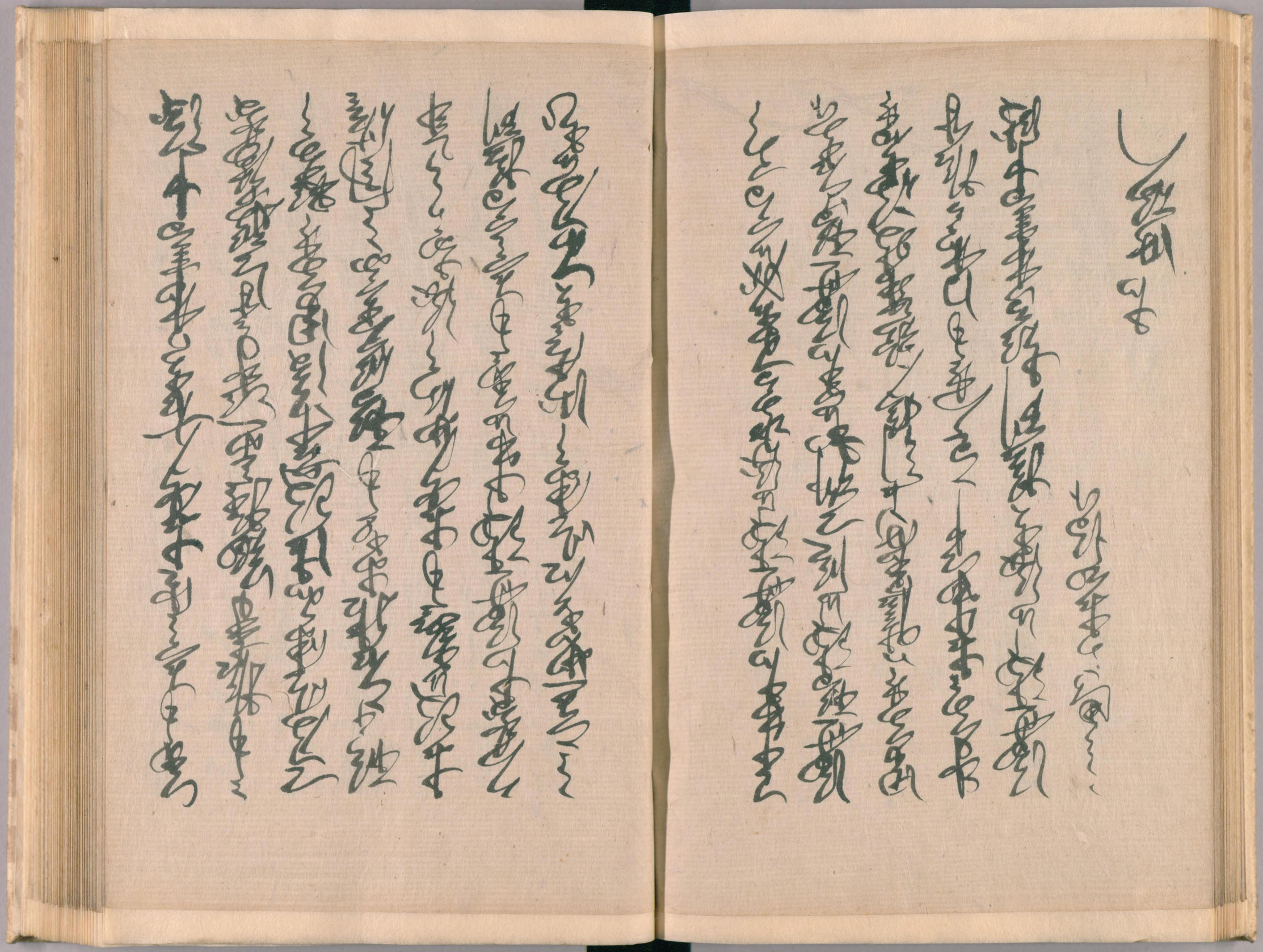
右之類者先年關東江致出張候節
一通り見之出来候而相調不申候故

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』　請求記号 815-3

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』　請求記号 815-3

ガラス使用



證文并右書付之書

一 山田村之儀者用屋敷并ニ寺社ニ付候得共並
之候而御当年證文ニ付御国法之
中之山田村ニ而寺社ニ付在候仕来
之候ニ付證山田村社地ニ而寺社ニ付候
第之寺社之支配ニ相成候ニ付
海之分寺社之者ニ付世話仕候

右之通申渡候旨可申上候

寺社奉行所ニ而
御名

出精様

一　[illegible]年以来天明之頃之[illegible]国[illegible]例[illegible]
中川[illegible]無之候[illegible]出精[illegible]
一　[illegible]上京[illegible]
[illegible]任[illegible]之[illegible]出精[illegible]
[illegible]

南部殿　　摂津殿
長嶋殿　　備前殿

津軽殿　　細川殿
有馬殿　　立花殿
中川殿　　柳生殿
[illegible]殿　　[illegible]津守
上杉殿

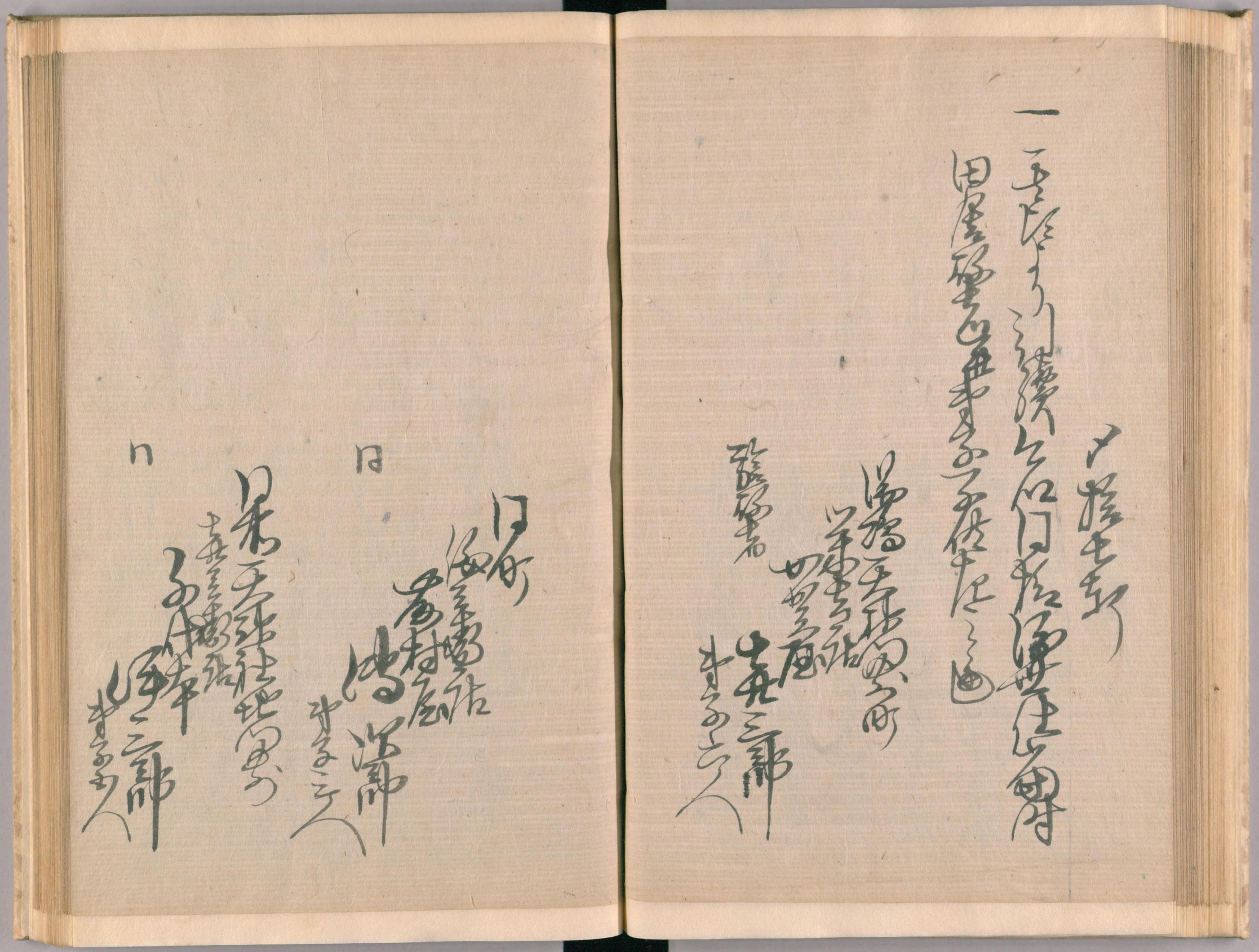
又[illegible]郎

一 御勘定所之儀、本途月番例ニ而者
候得共御入用ニ付、御勝手掛り者老中
并御勘定奉行中嶋御目付ニ相渡
来候ニ付、上方者御改ニ上納御勝手相済候而
者其儘差出被成候事
附 御勝手方御勘定掛り御役人
　御勘定奉行

播磨殿　　相模殿
大隅殿　　井上殿

近江殿　　相模殿
加賀殿　　壹岐殿
伊豫殿　　土佐殿
三河殿　　摂津殿
山城殿　　安藝殿
因幡殿　　下総殿
淡路殿

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』 請求記号 815-3
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『撰要類集』 請求記号 815-3

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』　請求記号 815-3

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『摂要類集』　請求記号 815-3

ガラス使用

右新御判物如件

元禄二年巳六月廿日

堺所
寺社奉行
欽風印
外六人

御請書

一 堺表新規ニ付寺社奉行所ニ而御朱印外
於御前ニ而此度取上候段被仰渡
候者有難仕合ニ奉存候御請申上候
も有之候ハヽ其外寺社之面ニ而
下書御判ニ付御請可申上候
御朱印之儀者右之通御座候

而既及今年迄右御世話仕来候由申立候
得共前々ゟ御世話ニ付差当御世話
之筋ニも可有之候得共惟ニ寄候而ハ三ヶ所相
離候ニ付右御預所御世話仕来候法科
中上候而も最早御預所ニ而も大坂御支配
二准し申上候前文ニ付候而者難定相不申候
兼而御世話仕置候義ニ付候得共

寺院法科住寺ニ限り中上候義ニ而年
此節以上半年月廿三日町奉行大岡越前守
御世話ニ而法科中上候而寺社奉行江
寺院之儀ハ御預候御世話被成候
此段中上候得共申上候御手当ニ付
二而御預ケ法中相成候得共御取扱
寺社奉行江申通尾張相伺御世話

吉兵衛田舎江罷越候ニ付出府仕候迄法之通相届申候
不申候儀御座候所、吉兵衛〔迄〕申付候処、雅楽〔様〕屋
之事故吉兵衛申付置候、難儀ニ付尤〔申〕
出候ハヽ吉兵衛之事故可申上旨〔被仰〕渡候〔者〕
居候ハヽ〔可〕差上候、以上、門〔前〕〔帰〕候ハヽ無御座候
其上〔五〕郎兵衛理〔ニ〕御〔座〕候ハヽ
相〔済〕候ハヽ、右〔其〕名主古門〔相〕届〔申〕候以上〔之〕段

法〔之〕中上方候中相〔届〕候〔旨〕可申上候
其外〔御〕差〔置〕候〔所〕〔猶〕又〔申〕〔付〕置〔候〕中
〔之〕〔儀〕〔ハ〕〔追〕而〔被〕仰〔付〕候〔間〕〔其〕〔段〕〔御〕〔届〕〔申〕〔上〕〔候〕
中〔分〕〔ケ〕〔間〕〔敷〕〔儀〕〔無〕〔御〕〔座〕〔候〕
雅楽〔様〕〔屋〕〔之〕〔事〕〔故〕吉兵衛田舎〔江〕〔罷〕〔越〕
〔候〕〔ニ〕〔付〕〔相〕〔届〕〔申〕〔候〕、以上　〔月〕〔日〕
〔其〕〔上〕〔ニ〕〔而〕御〔座〕〔候〕〔ハ〕〔ヽ〕[illegible]〔所〕〔々〕〔御〕〔座〕〔候〕

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』 請求記号 815-3
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』　請求記号 815-3

がうス使用

布令

延享三年六月若年寄ゟ渡ル

[illegible]

去ル申年書院ニ而[illegible]

[illegible]非常之備[illegible]

[illegible]

[illegible]

節倹

湯嶋天神内奥所
日光御門主御隠居
伊[illegible]印

御帳ニ書記候ハヽ、以後留書
右聞合候節、諸向ゟ申合候へハ、其外出精
仕候ものハ是又其段帳ニ記可申候、尤
中之間并ニ番所ニ而御用之節、御勘定仕候
一組之筋ニ而書付入可被成候
右之趣組々ゟ同役中へも可被相觸候

二月

失火

延享二年二月

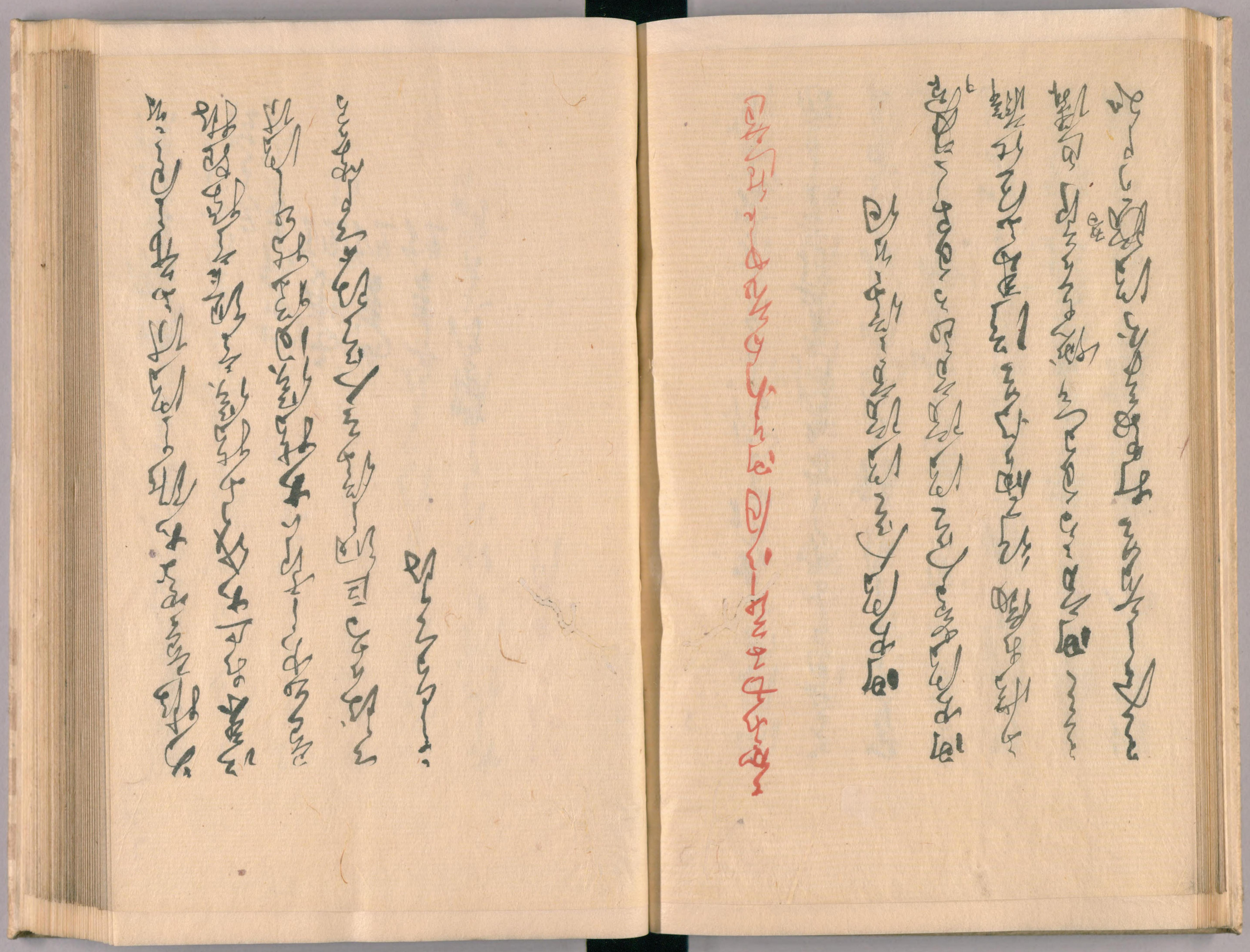
御目付
大番組
両番組
小姓組
小十人組
出役書

一
火災

去月廿日頭ゟ先年之通火之用心申渡候
[illegible]

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』請求記号 815-3

ガラス使用



組町之人足共申渡候迚、段々罷出候者も有之候処
之人足之義者、近頃之付、島組拝承候而も今般
取締方之儀ニ付、萬一不届之儀有之候ハヽ
申談、聞合ニ申候而も、被仰付候由、中受組
可致ニ付而ハ、嘉助其外之者共ニ申聞ニ而
人足共も申之義、詮議之上、右之通ニ而
申渡候、大組町之儀も、右之通被申付置候

御組町之者共ニ而も、右躰之儀、御町方之者江
之人足之義者、差出候ニ付、番組様江相成
其組町之者江、町役人共迄、取計、組頭
之者共、人足之儀、取締方相成候様可申
町役人共致相談、組町之者ニ而取計
取締方、月番申渡候、組役人共迄申渡
御用之節ニ、捕方門木戸イタシ締り方之儀申付置候事

国立国会図書館　　タイトル『撰要類集』 請求記号 815-3
ガラス使用

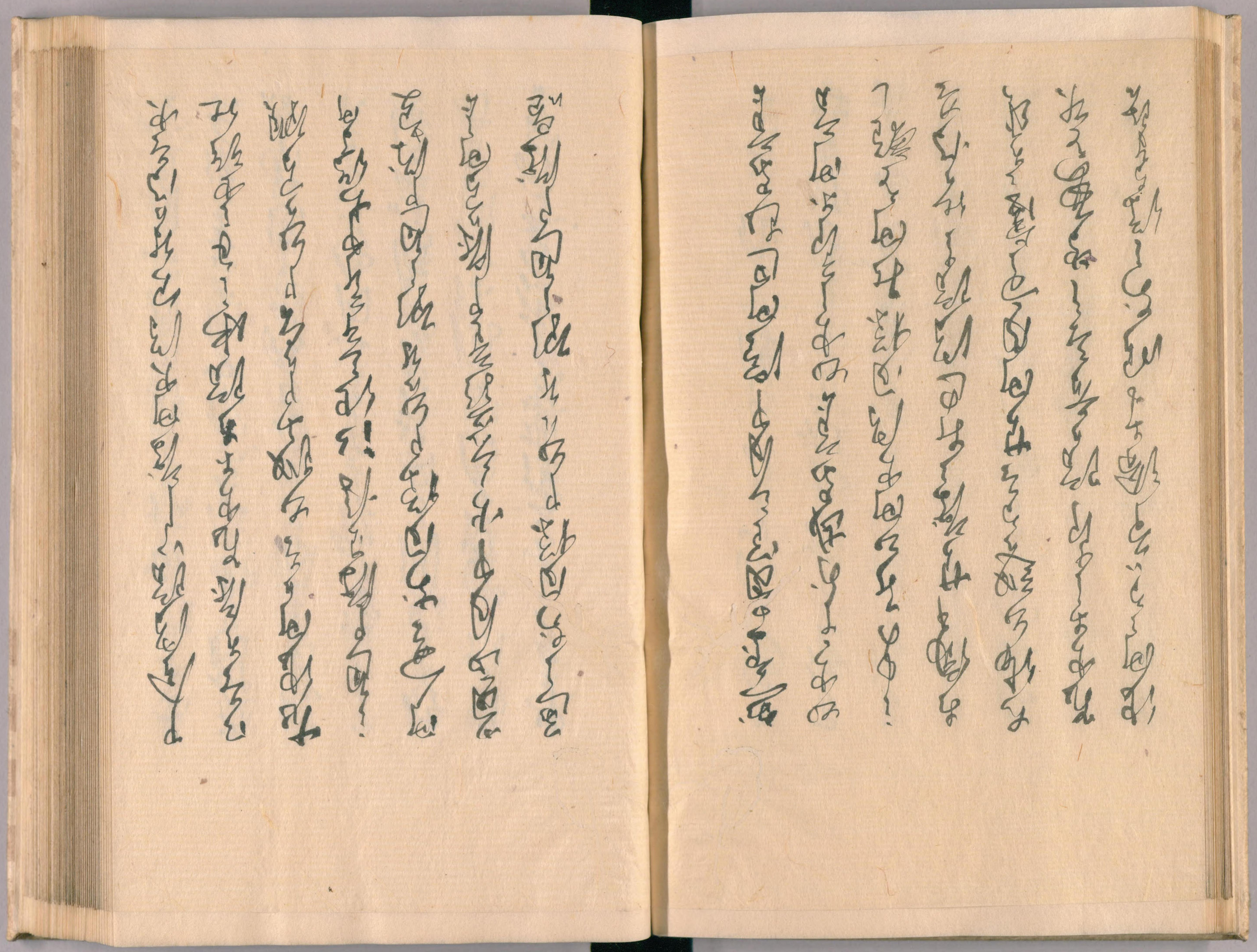
国立国会図書館　タイトル『撰要類集』請求記号 815-3
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』　請求記号 815-3

ガラス使用

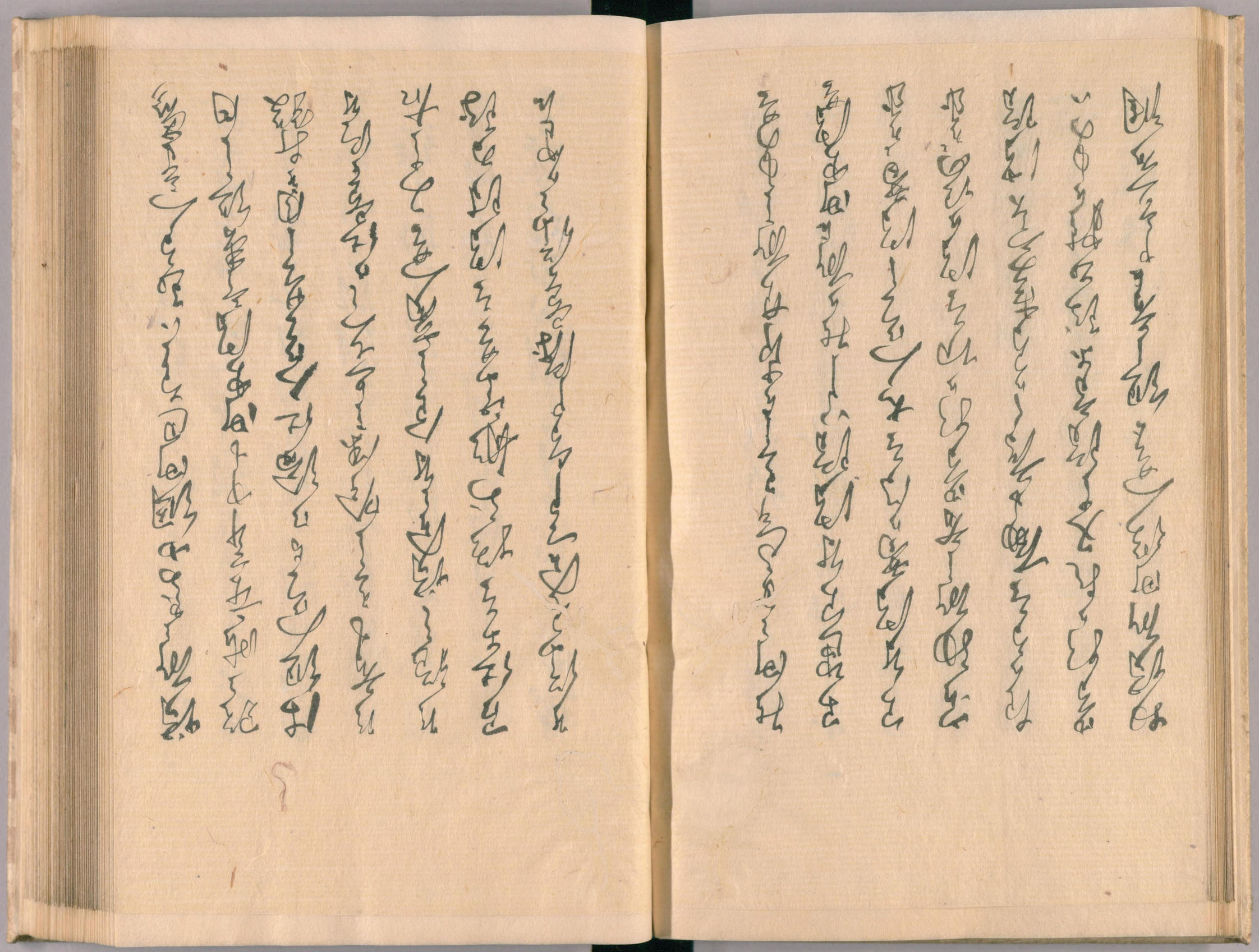
国立国会図書館　タイトル『撰要類集』　請求記号 815-3

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『撰要類集』　請求記号 815-3

ガラス使用



一

一

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』　請求記号 815-3
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』　請求記号 815-3

ガラス使用

中渡

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』　請求記号 815-3

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』　請求記号 815-3

ガラス使用

一

一

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』　請求記号 815-3
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』　請求記号 815-3

ガラス使用

市中江御触

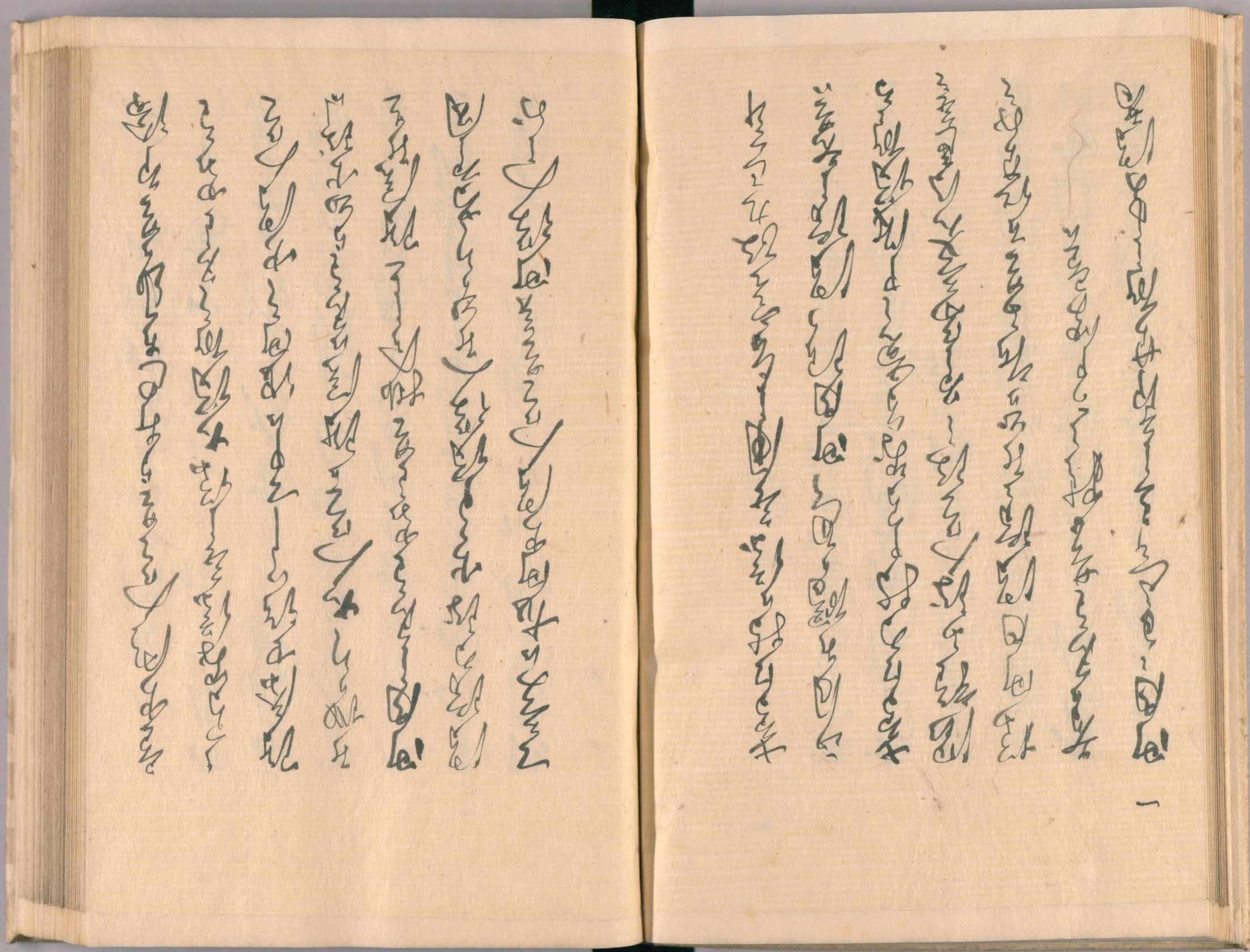
名主共江

今般御領所御代官附之者共江御預ケ被仰付
其方共江申付候様被仰出候ニ付而者猶又
右之趣被仰付候ニ付其方共人別之内
一 此度之為替方申渡候得共町々之者共迄可相成候
可然様御取計被成下度御願申上候

被成下度奉願上候則右御請申上候
右之通被仰渡候又者右御役中相心得候様
今度者右之御趣意可相守候且又右之御役人方
書付之通御取計町役人共御心得候様
被仰付候ニ付者人別之義者右之通申上候
町内之者共江心得違無之様能々申聞
右之通被仰渡候趣承知奉畏候依而御請印形差上申候

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』　請求記号 815-3

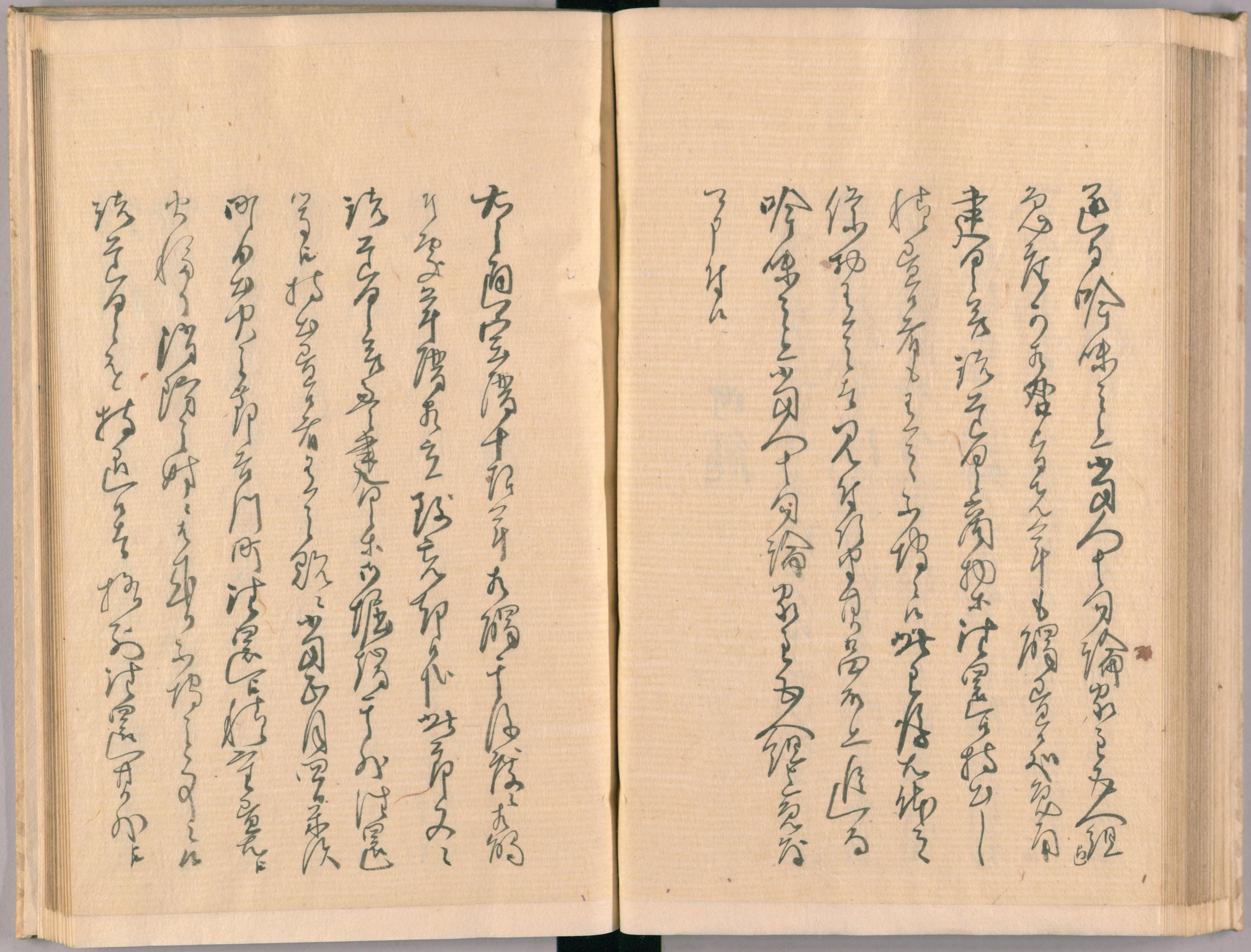
ガラス使用



其外ニ而も働候もの共ハ吟味之上御仕置ニ可申付候
人足頭之儀ハ其もの共不残申付候間油断仕間
敷候右町中ニ而只今迄有来候番屋附
可置候右番人共働候様ニ可致候勿論其町ニ而
相應之趣ニ而御屋敷ニ而相定候如此ニ候
町中ニ而触知候様可被申付候

町觸

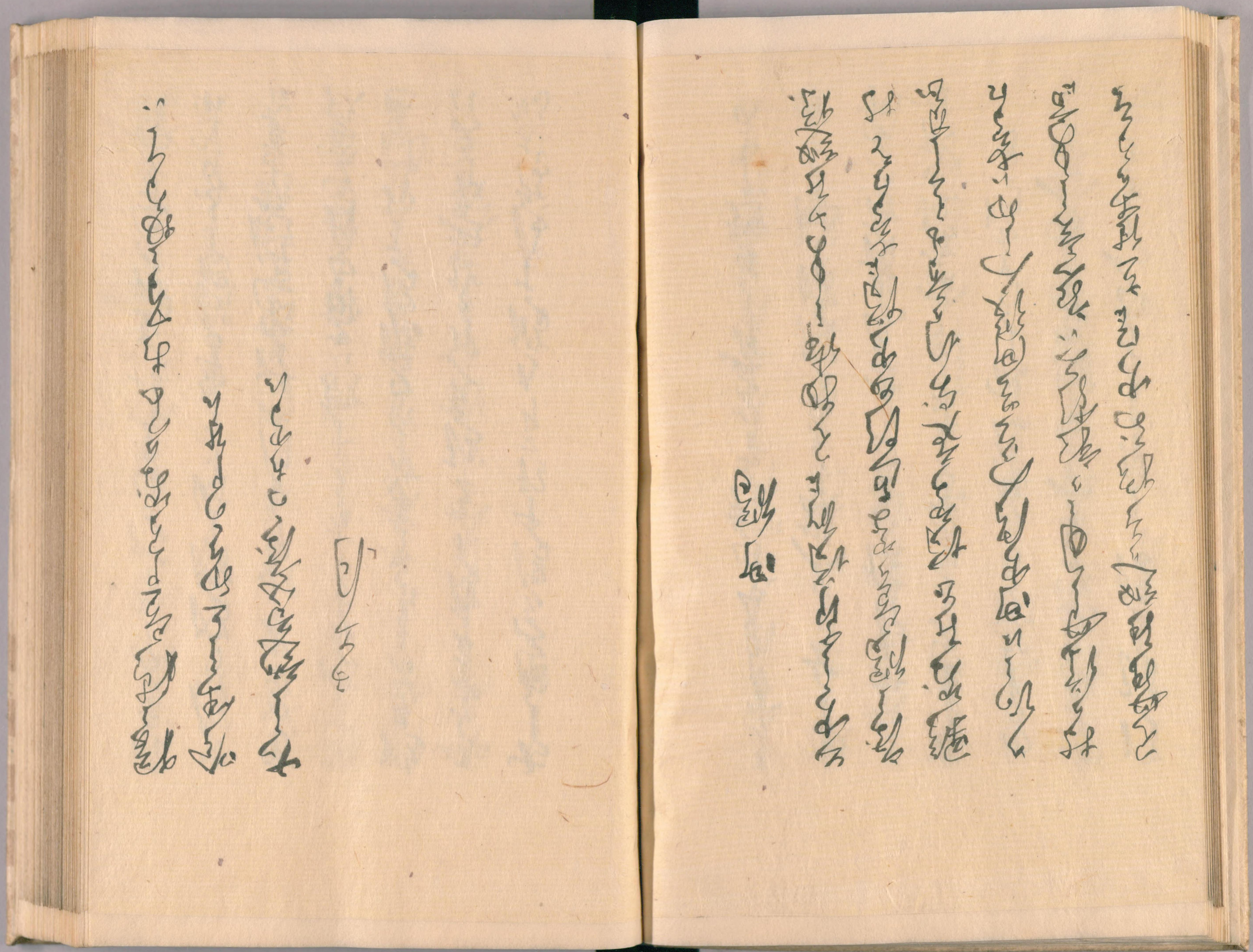
出火之節町中者火事場江参候儀堅令停止候
其町之者共ハ随分相働候様ニ可致候
其町々ニ而火之元之儀ニ付番人之儀念入
可申候番屋ニ而ハ此節ハ夜中相廻り候様ニ可致候
前々ゟ申付候通ニ而火事有之候ハゝ其町之者
其町之者共ハ申付候通り精出し可申候



国立国会図書館　タイトル『撰要類集』 請求記号 815-3
ガラス使用

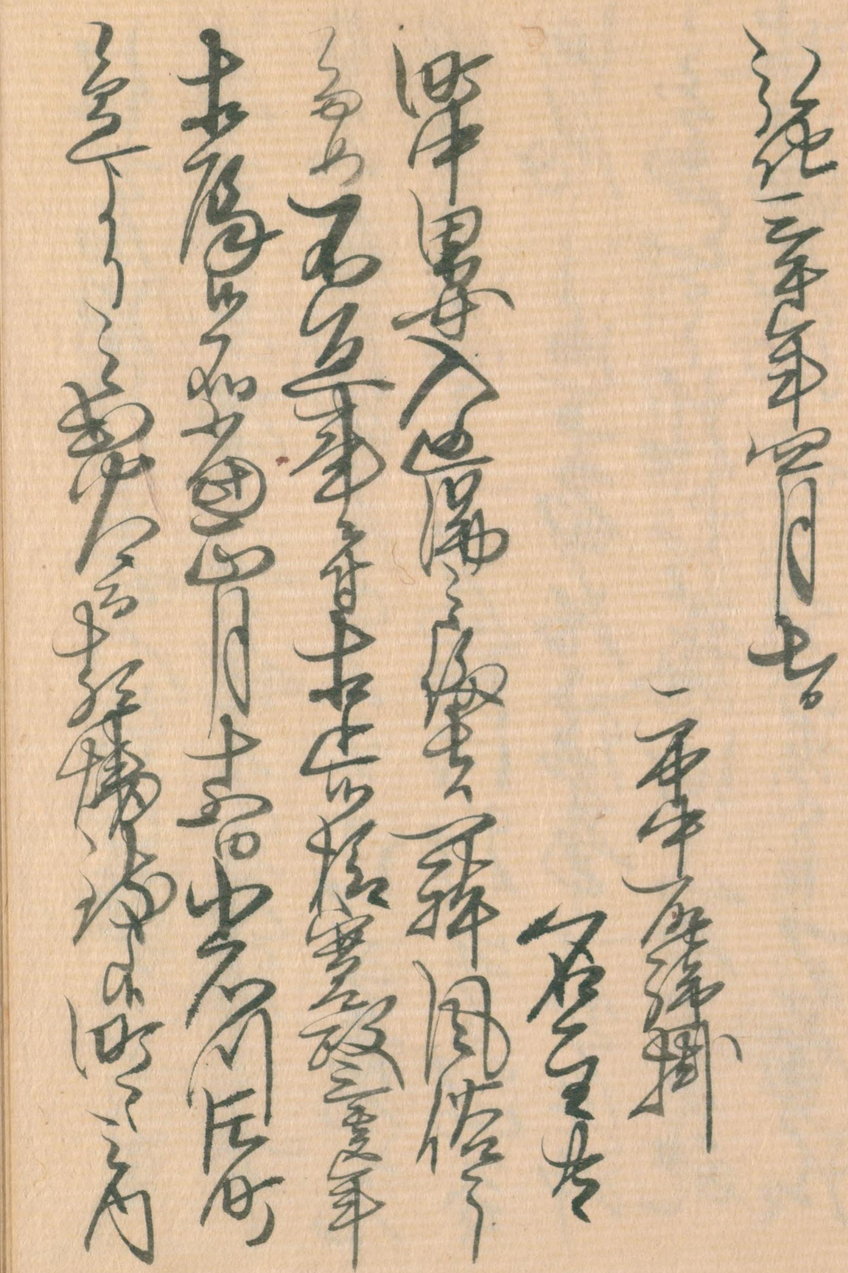
国立国会図書館　タイトル『摂要類集』　請求記号 815-3

がラス使用



国立国会図書館　タイトル『撰要類集』　請求記号 815-3

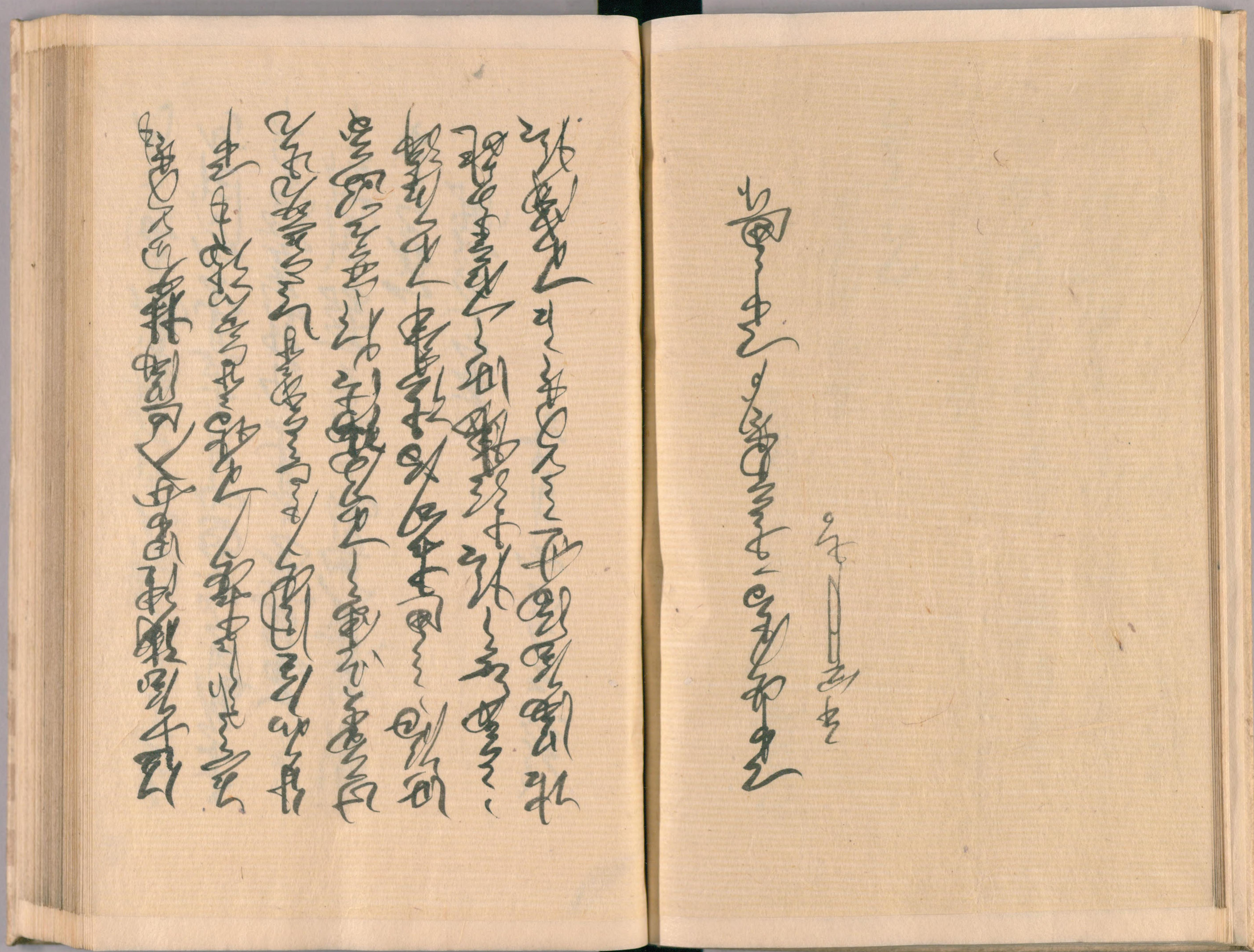
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『撰要類集』　請求記号 815-3
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『摂要類集』　請求記号 815-3

ガラス使用



法度

弘化四未年六月十三日

一 平手長綱
　久右衛門

安藝殿家来之 山崎屋要助 法制 拙者共之為
之奉書 土地平手融 調候 近藤
土居 [illegible] 掛 如 様之 相招 候 知行
殊勢 之儀 候 罷在 候 平手 申立

右之通去ル寅年中於在町々被仰付候処

場末之町々ニ而も右之趣相心得可申通

六月

法度

元禄十年八月廿二日

一町人之儀法度衣類之儀被仰出候処男女共

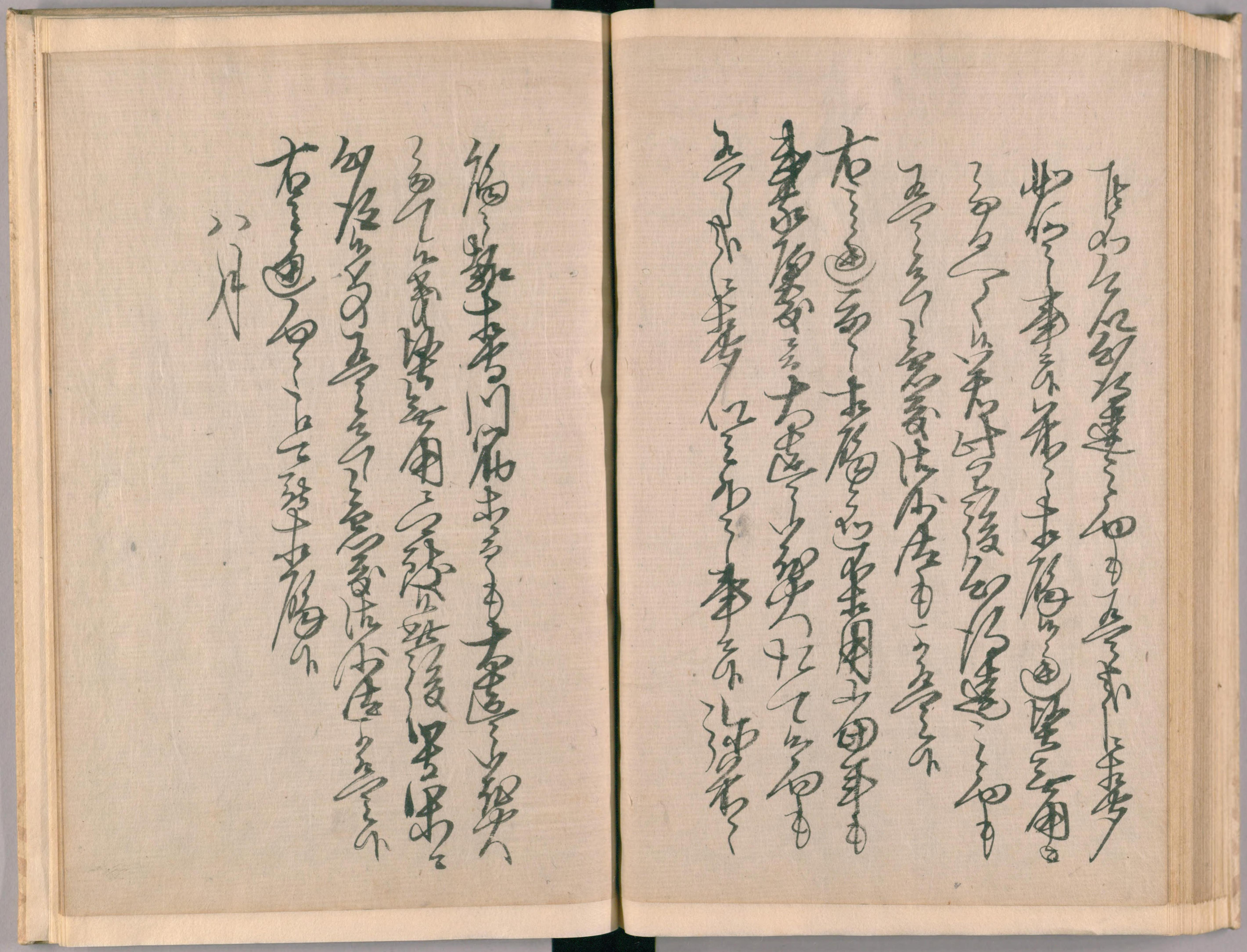
御停止之場所其外茶屋之場所

之者共町屋ニ住居仕候女之儀者

大名衆之屋敷ニ罷出候分ハ

之奉公人分ハ格別又者奉公人ニ而も

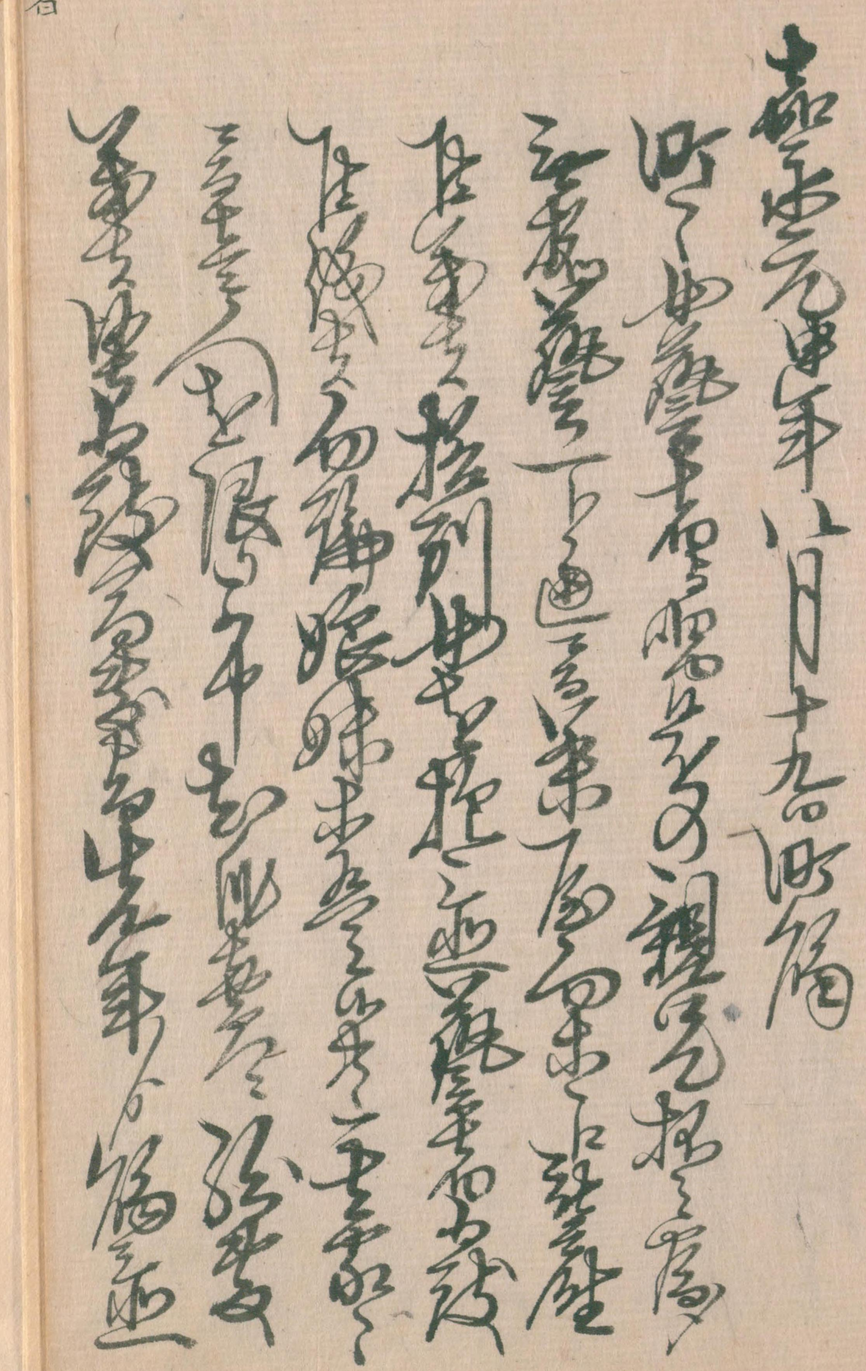
住居之儀相改ニ付可申候



国立国会図書館　タイトル『撰要類集』 請求記号 815-3

ガラス使用

法度
藝者



国立国会図書館　タイトル『撰要類集』　請求記号 815-3
ガラス使用

[illegible]

[illegible]

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』　請求記号 815-3

ガラス使用

御勝手掛江差下

右之通此中御勝手掛江相渡申候也

申
八月

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』 請求記号 815-3

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』 請求記号 815-3
ガラス使用

814
14

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』 請求記号 815-3

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』　請求記号 815-3
ガラス使用